

7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

-
- (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
 - (2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み
 - (3) 『花のビュー坊プレート』『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況
 - (4) 治安が改善していることの認知
 - (5) 居住地域の治安状況
 - (6) 区内の治安が良いと感じる点
 - (7) 区内の治安が悪いと感じる点
 - (8) 治安対策として区に力を入れてほしいこと
 - (9) 駐車時の鍵かけ状況
-

7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

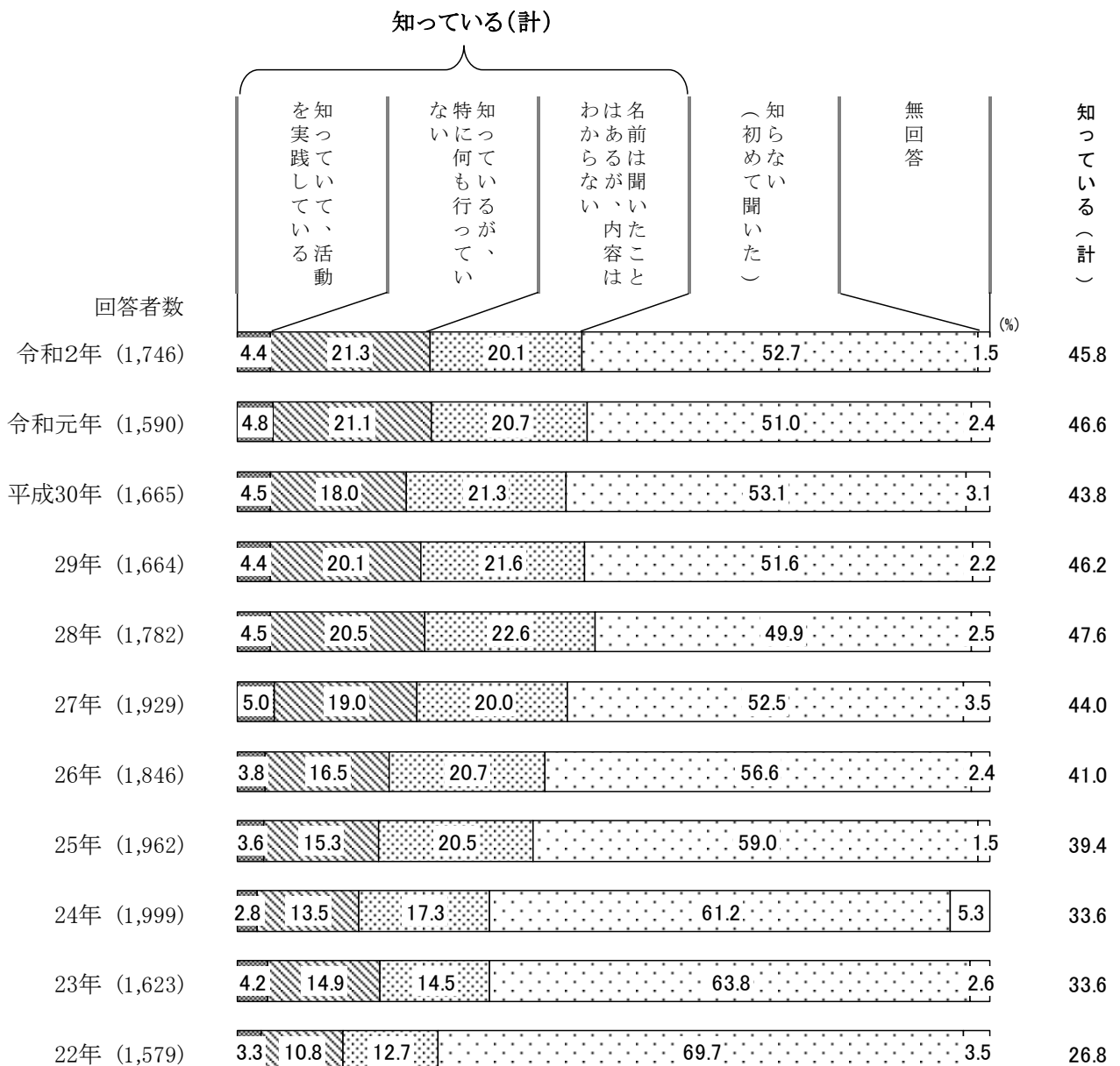
(1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

■【知っている】が4割台半ばで、「知らない」が5割強を占めている

問33 あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか（○は1つだけ）。

※「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは、「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

図7-1-1 経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



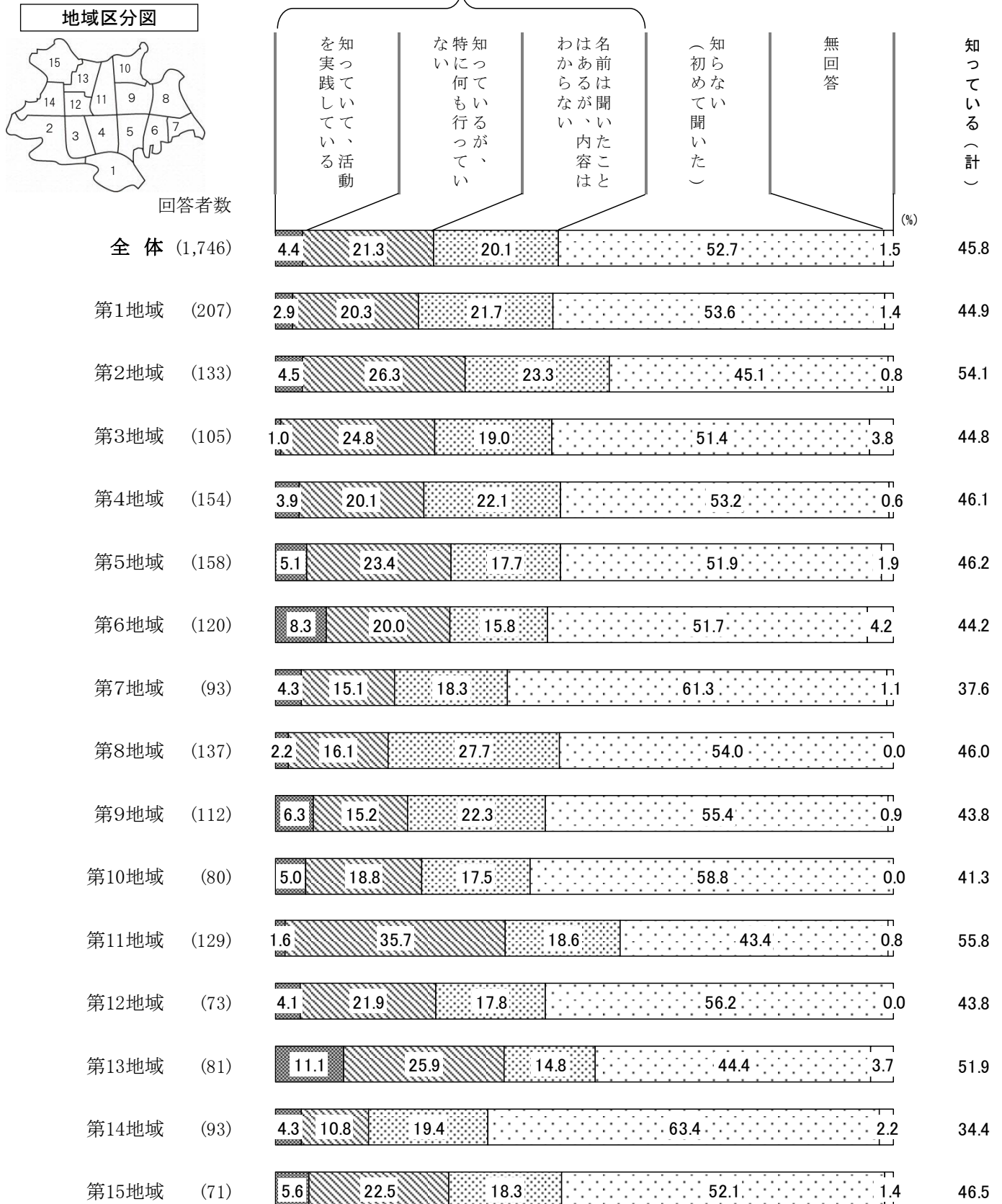
第3章 調査結果の分析〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は4.4%で、これに「知っているが、特に何も行っていない」（21.3%）、「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」（20.1%）を合わせた【知っている】は45.8%となっている。

経年でみると、【知っている】は、平成28年の47.6%を頂点として平成29年以降は2年続けて微減していたものが、前回の令和元年で2.8ポイント増加した。今回の【知っている】は45.8%と前回（46.6%）より0.8ポイントながら微減している。

地域別でみると、【知っている】は、第11地域で55.8%と最も高いほか、第2地域でも54.1%と高くなっているが、第14地域（34.4%）と第7地域（37.6%）では3割台で低くなっている。

図7-1-2 地域別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
知っている(計)

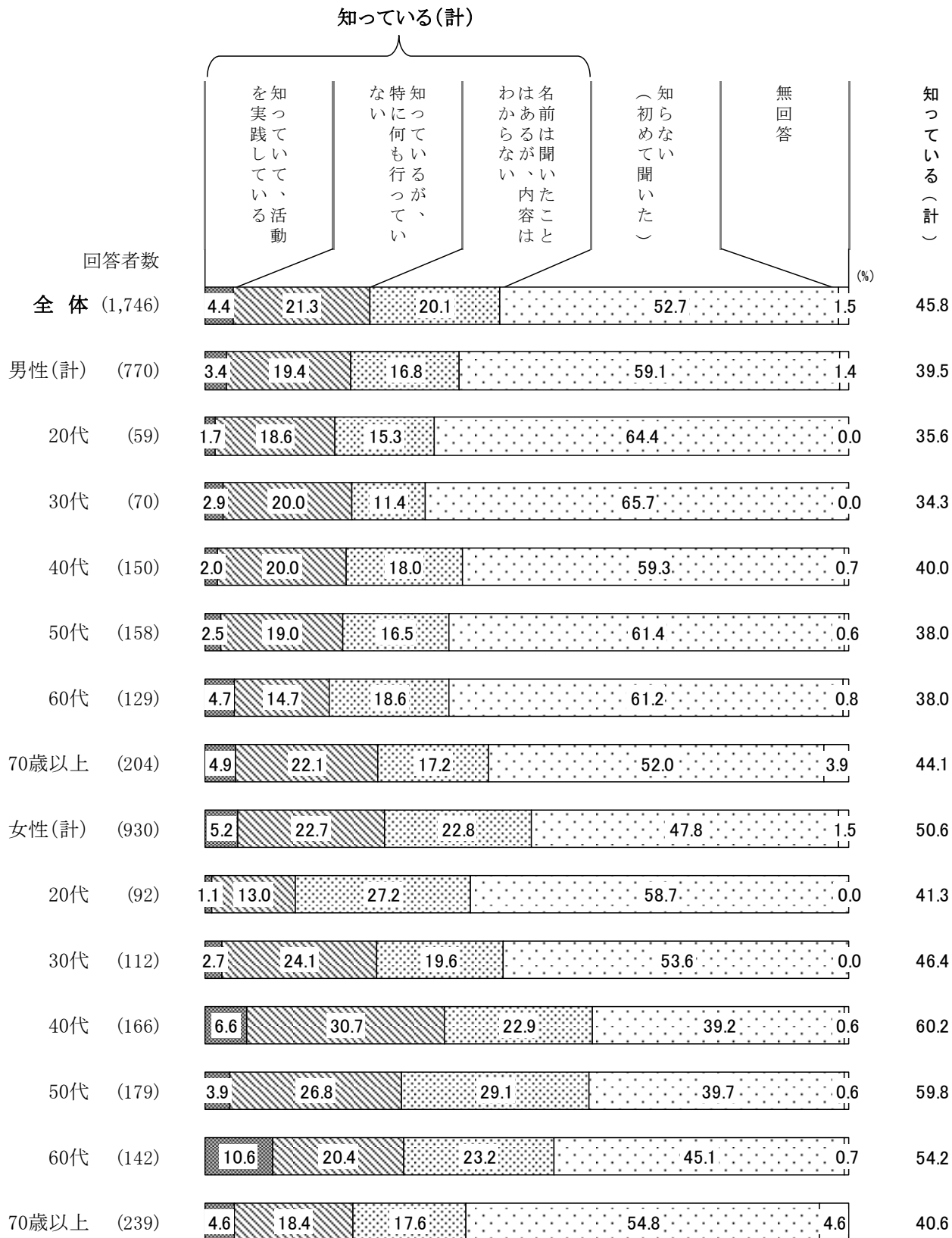


第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別でみると、【知っている】は男性39.5%、女性50.6%と、男性より女性が高くなっている。
 性・年代別でみると、男性では、【知っている】は70歳以上で4割台半ばと高くなっているが、
 20代と30代では3割台半ばとやや低くなっている。

女性では、【知っている】は40代と50代で6割程度と高いが、20代と70歳以上では4割強とやや低くなっている。

図7-1-3 性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



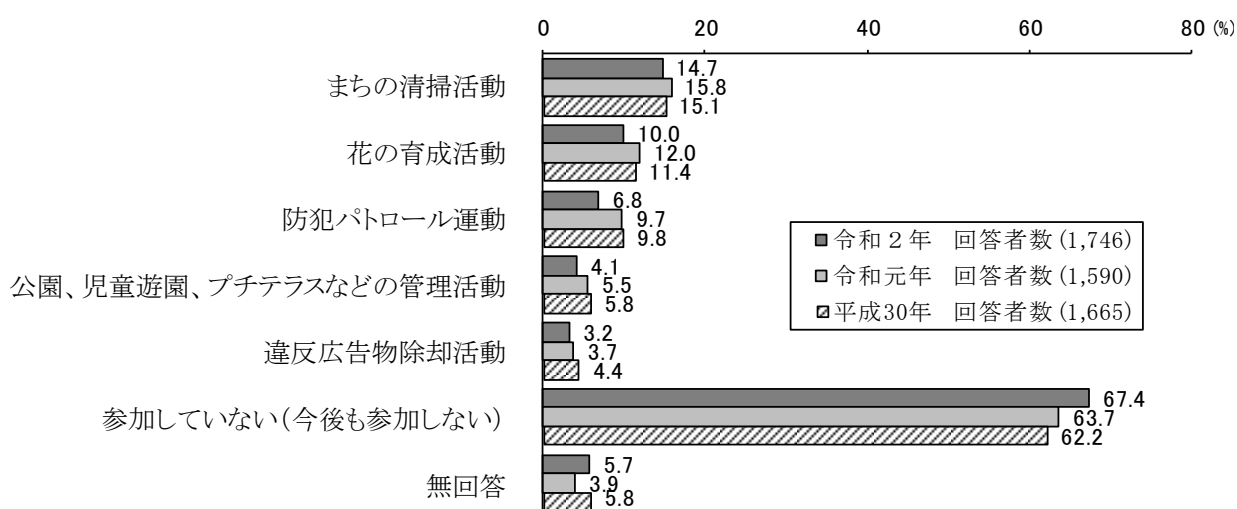
(2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

■「まちの清掃活動」が1割台半ばと最も、「参加していない(今後も参加しない)」が7割弱に達している

問34「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関連する取り組みのうち、あなたが現在参加している、もしくは今後参加したいものは何ですか（〇はあてはまるものすべて）。

図7-2-1 経年比較／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関する取り組みのうち、現在参加している、もしくは今後参加したい取り組みを聴いたところ、「まちの清掃活動」が14.7%で最も高く、以下「花の育成活動」（10.0%）、「防犯パトロール運動」（6.8%）の順となっている。

一方、「参加していない（今後も参加しない）」は67.4%となっている。

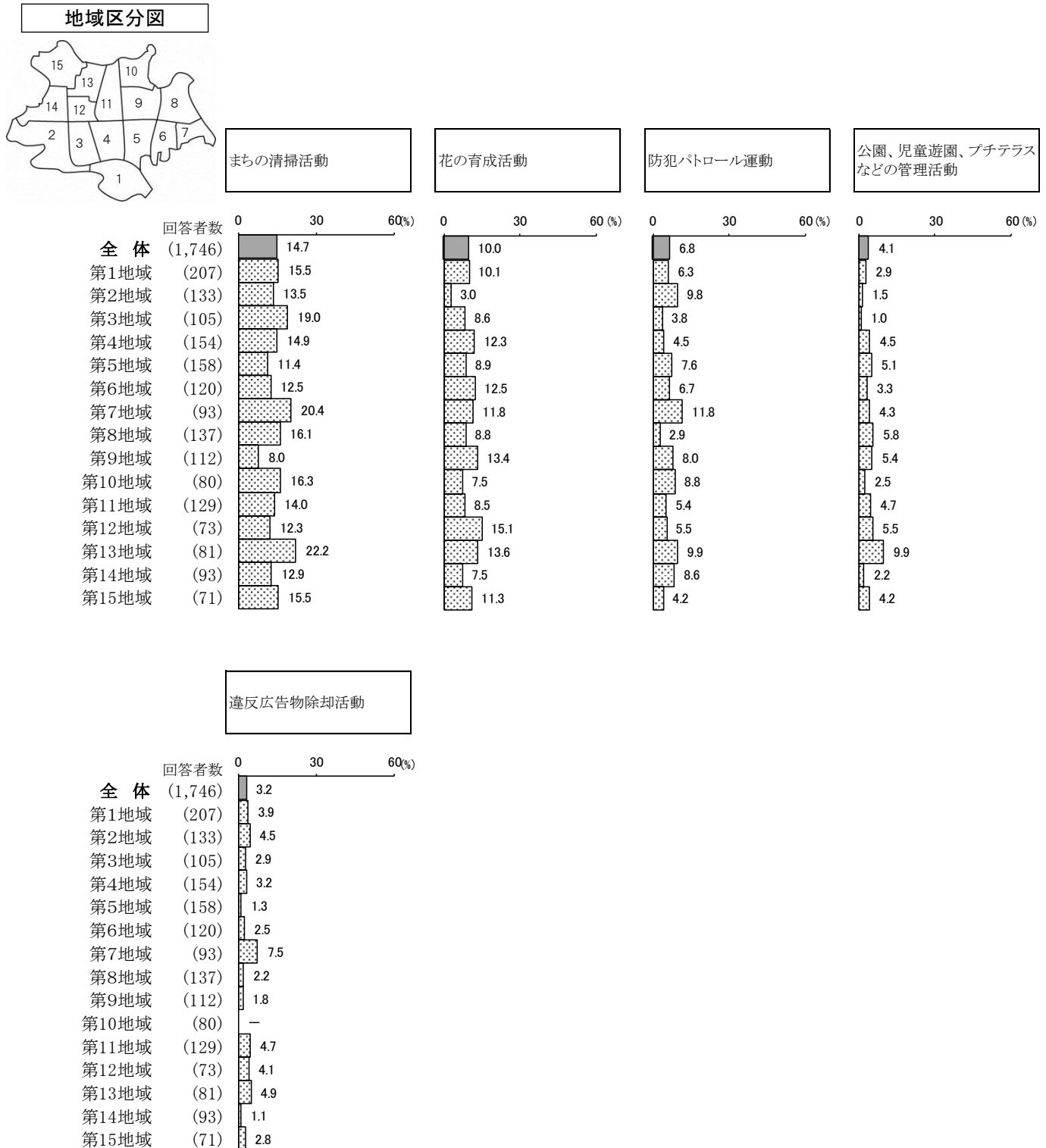
経年でみると、今回の回答割合に平成30年と令和元年の過去の2回と大きな違いはみられないが、具体的な活動を示す選択肢5項目はいずれも前回の比率を僅かずつ下回って減少している一方で、「参加していない（今後も参加しない）」は2年続けて微増している。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域別でみると、「まちの清掃活動」は第13地域と第7地域で2割を超え、「防犯パトロール」は第7地域で1割強と、それぞれ他の地域に比べてやや高くなっているが、各項目ともに地域別に目立って大きな違いはみられない。

図7-2-2 地域別／

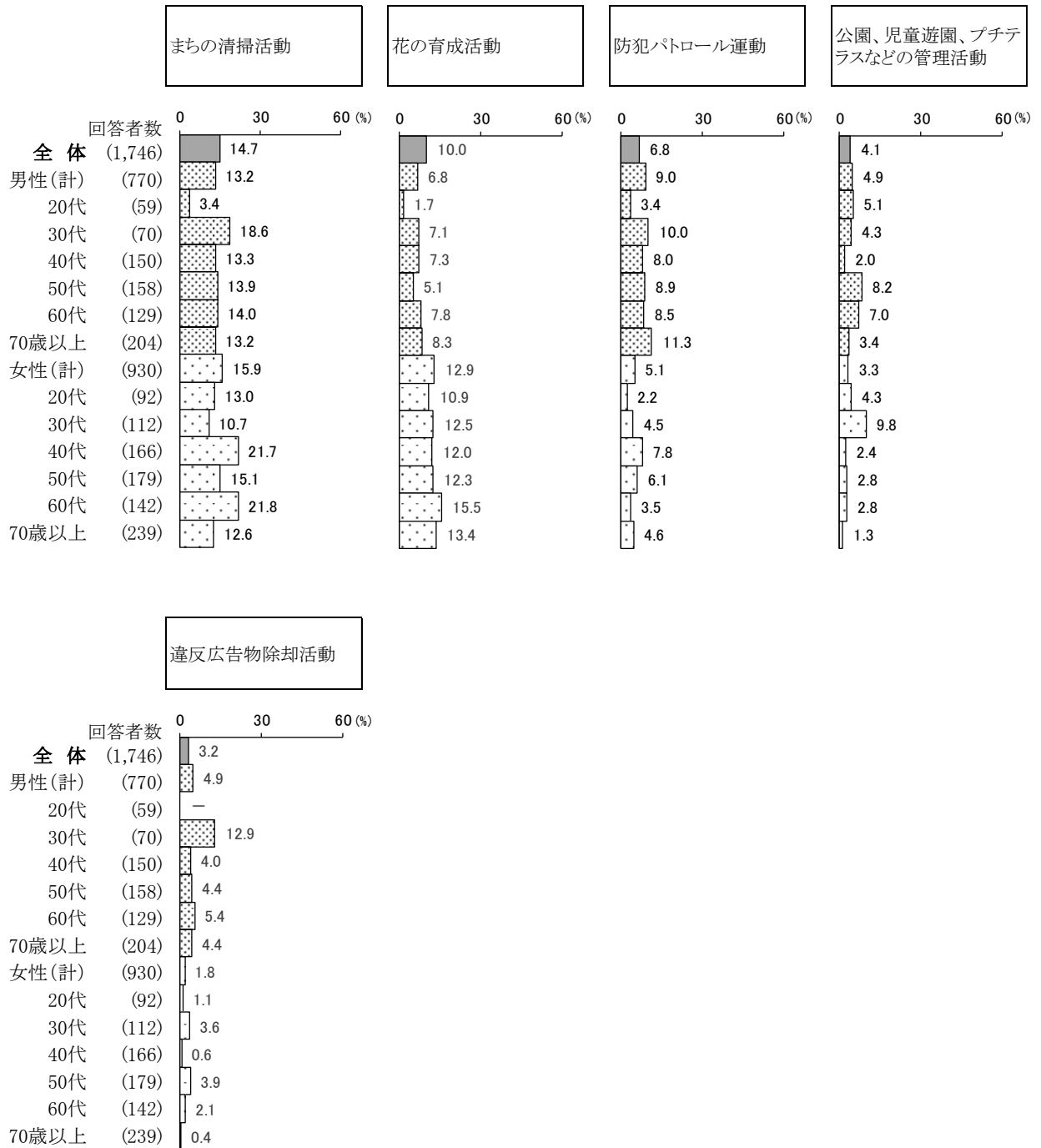
参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



性別でみると、「花の育成活動」で女性が12.9%と男性（6.8%）を上回ってやや高いのを除くと、大きな男女差はみられない。

性・年代別でみると、「まちの清掃活動」が女性の40代と60代で2割強、「違反広告物除却活動」が男性の30代で1割強、「公園、児童遊園、プチテラスなどの管理活動」が女性の30代で約1割と、それぞれやや高いのを除くと、目立った違いはみられない。

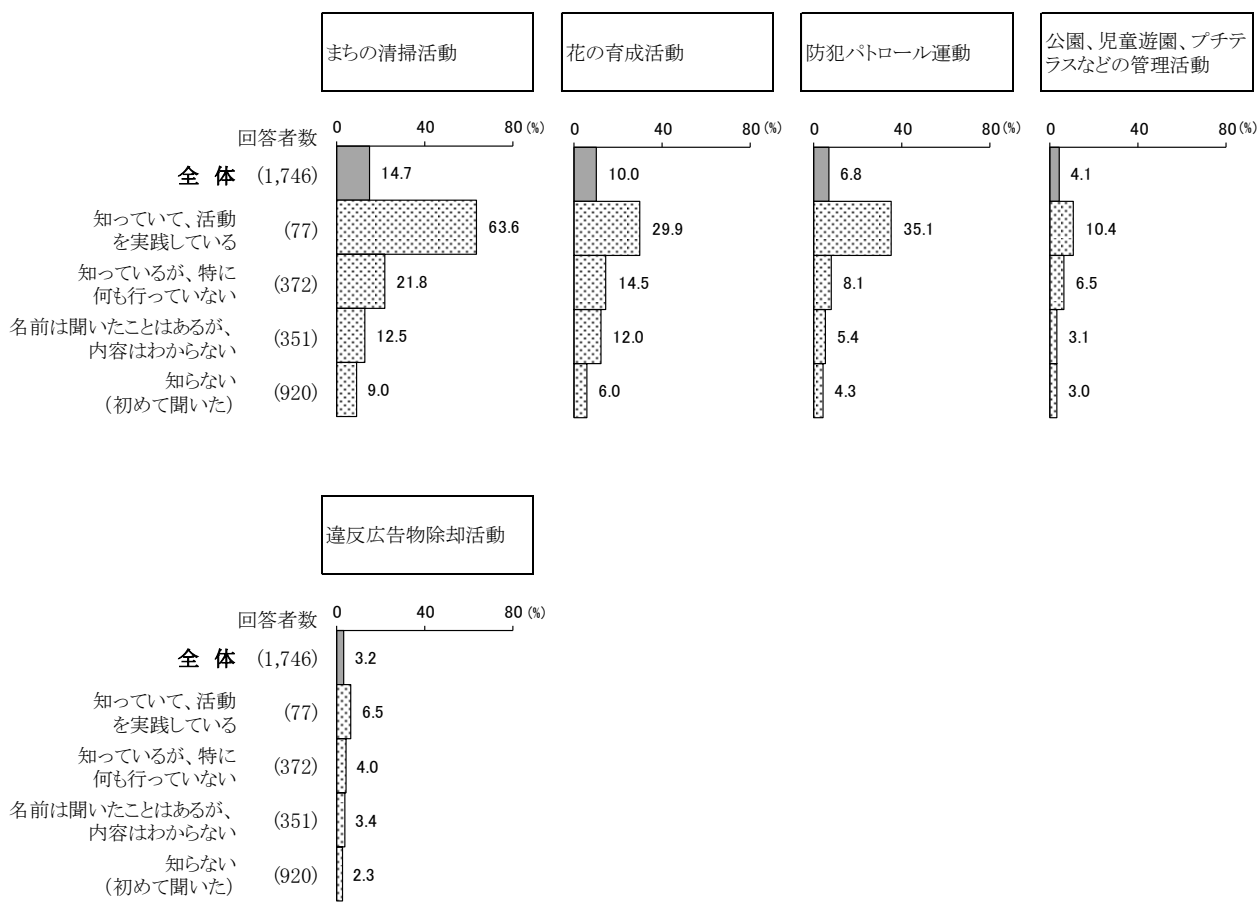
図7-2-3 性別、性・年代別／
参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別にみると、上位3項目については認知・実践レベルが高いほど、それぞれの取り組みに対する参加率、参加意向は高くなる傾向がみられ、その傾向は「知っていて、活動を実践している」層でとくに顕著で、「まちの清掃活動」(63.6%)で50ポイント近く、「防犯パトロール運動」(35.1%)で30ポイント近く、それぞれ全体に比べて高くなっている。

図7-2-4 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



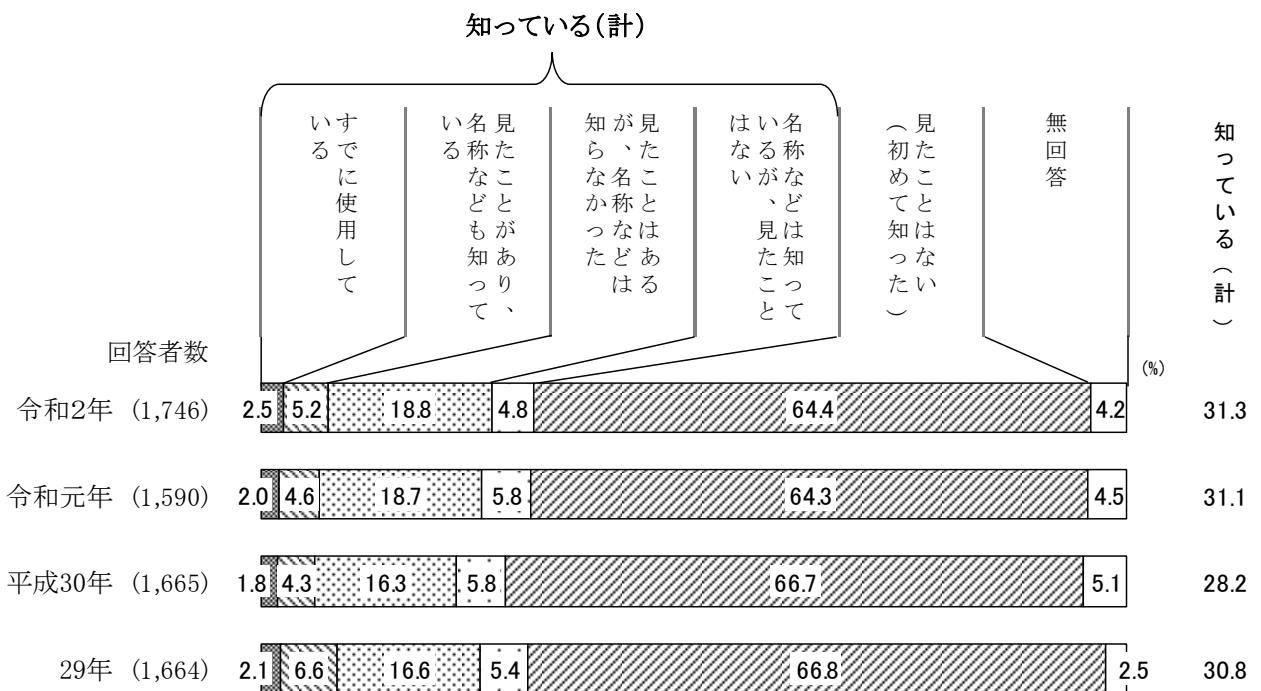
(3) 『花のビュー坊プレート』『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況

■「見たことはない（初めて知った）」が、6割台半ばと傾向は変わらず

問35 あなたの行動範囲で、「花のあるまちかど事業（※）」の『花のビュー坊プレート』や『ビュー坊のガーデンピック』を見たことがありますか（○はそれぞれ1つずつ）。

※「花のあるまちかど事業」とは、玄関先や店先で鉢植えやプランターを飾ったり、公園や公共施設などの花壇で花を育てることにより、まちを彩ることと、花の手入れを行う際の人の目で犯罪を抑止しようとする事業です。植木鉢などに『花のビュー坊プレート』や『ビュー坊のガーデンピック』をさして、事業をアピールしています。

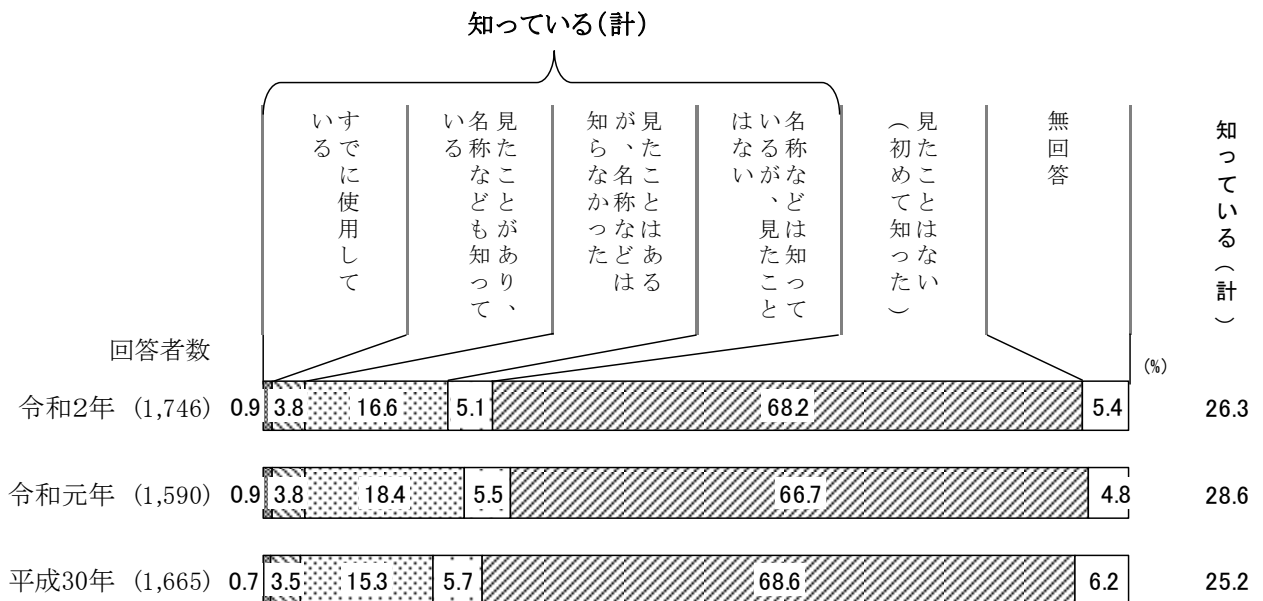
図7-3-1-① 経年比較／『花のビュー坊プレート』の認知状況



『花のビュー坊プレート』を「すでに使用している」は2.5%で、これに「見たことがあり、名称なども知っている」（5.2%）、「見たことはあるが、名称などは知らなかった」（18.8%）、「名称などは知っているが、見たことはない」（4.8%）を合わせた【知っている】は31.3%となっている。一方、「見たことはない（初めて知った）」は64.4%となっている。

経年でみると、【知っている】は31.3%と前回（31.1%）とほぼ同じで、回答分布もほぼ前回の令和元年調査と同じとなっている。

図7-3-1-② 経年比較／『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況



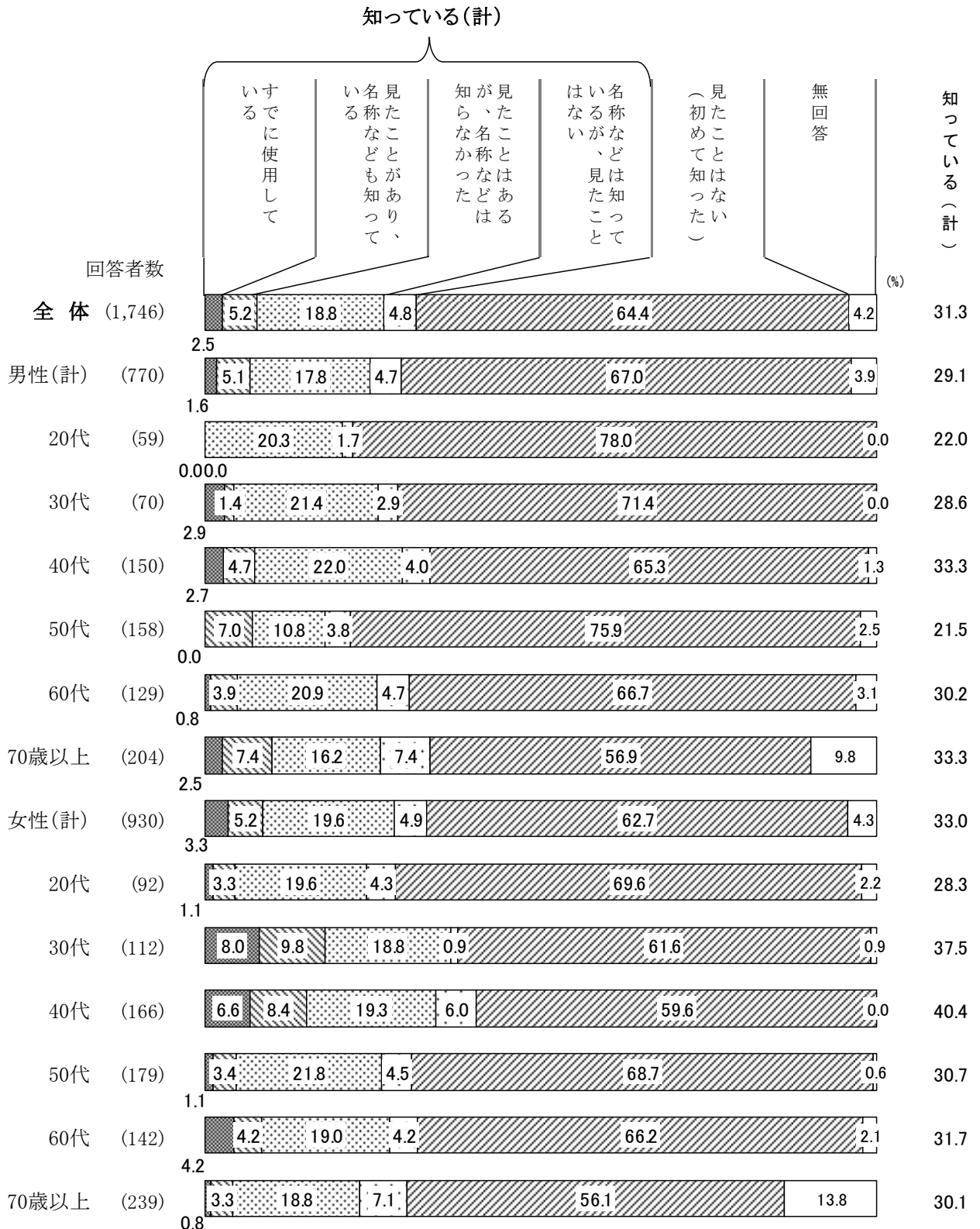
『ビュー坊のガーデンピック』を「すでに使用している」は0.9%で、これに「見たことがあり、名称なども知っている」(3.8%)、「見たことはあるが、名称などは知らなかった」(16.6%)、「名称などは知っているが、見たことはない」(5.1%)を合わせた【知っている】は26.3%となっている。一方、「見たことはない(初めて知った)」は68.2%となっている。

経年でみると、回答分布に大きな違いはみられないが、【知っている】は今回26.3%で、前回(28.6%)より2.3ポイント減少しており、「見たことはない(初めて知った)」が今回68.2%と前回(66.7%)より1.5ポイント増加している。

『花のビュー坊プレート』の認知状況を性別でみると、【知っている】は男性29.1%、女性33.0%で女性の方がやや高めとなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は、男性では40代と70歳以上で3割強とやや高く、女性では40代で4割を超えて最も高く、30代も4割弱とやや高くなっている。

図7-3-2-① 性別、性・年代別／『花のビュー坊プレート』の認知状況

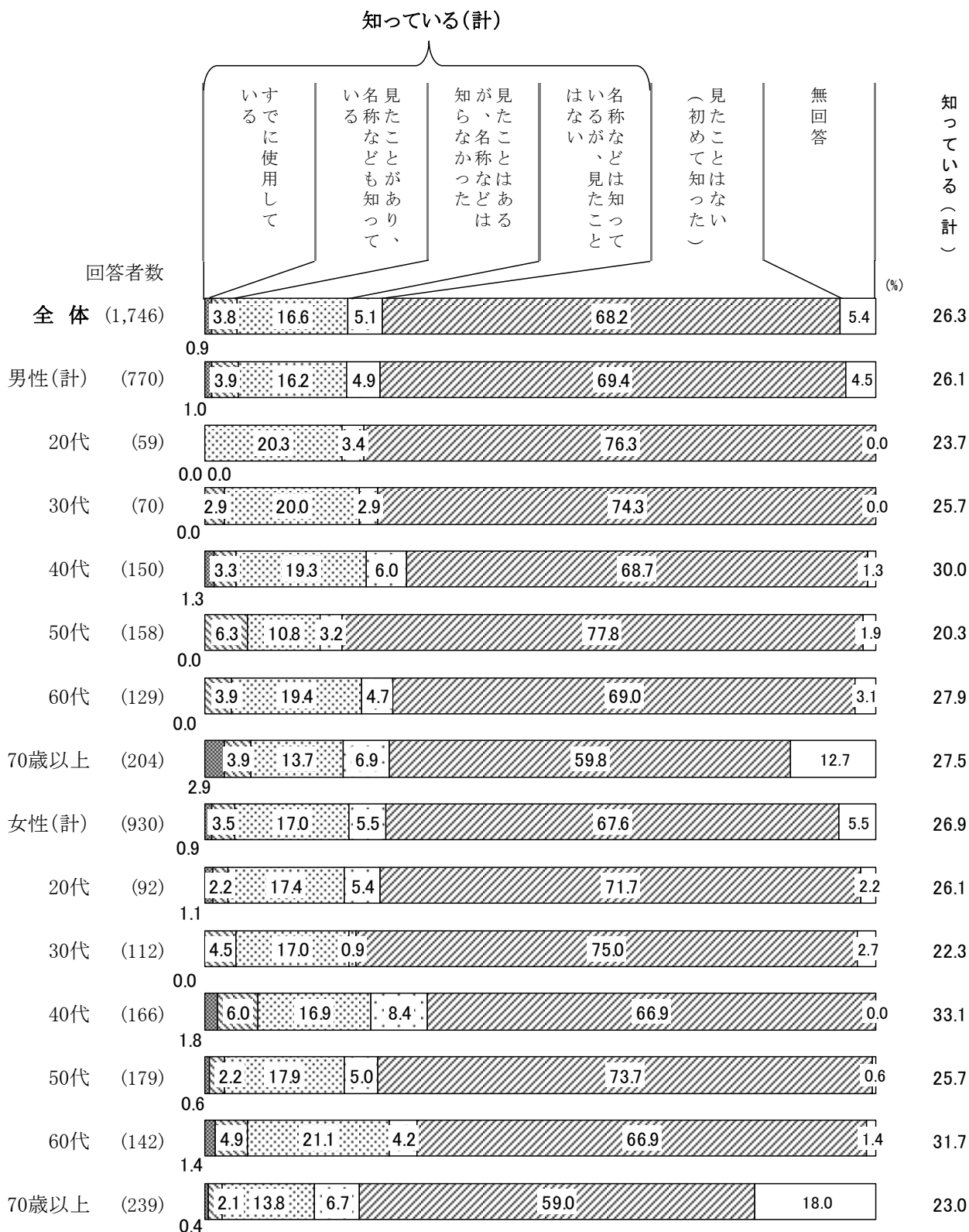


第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況を性別でみると、【知っている】は、男性26.1%、女性26.9%でほとんど違いはみられない。

性・年代別でみると、目立って大きな違いはみられないが、【知っている】は、男性では40代で、女性では40代と60代で、それぞれ3割台とやや高くなっている。

図7-3-2-② 性別、性・年代別／『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況



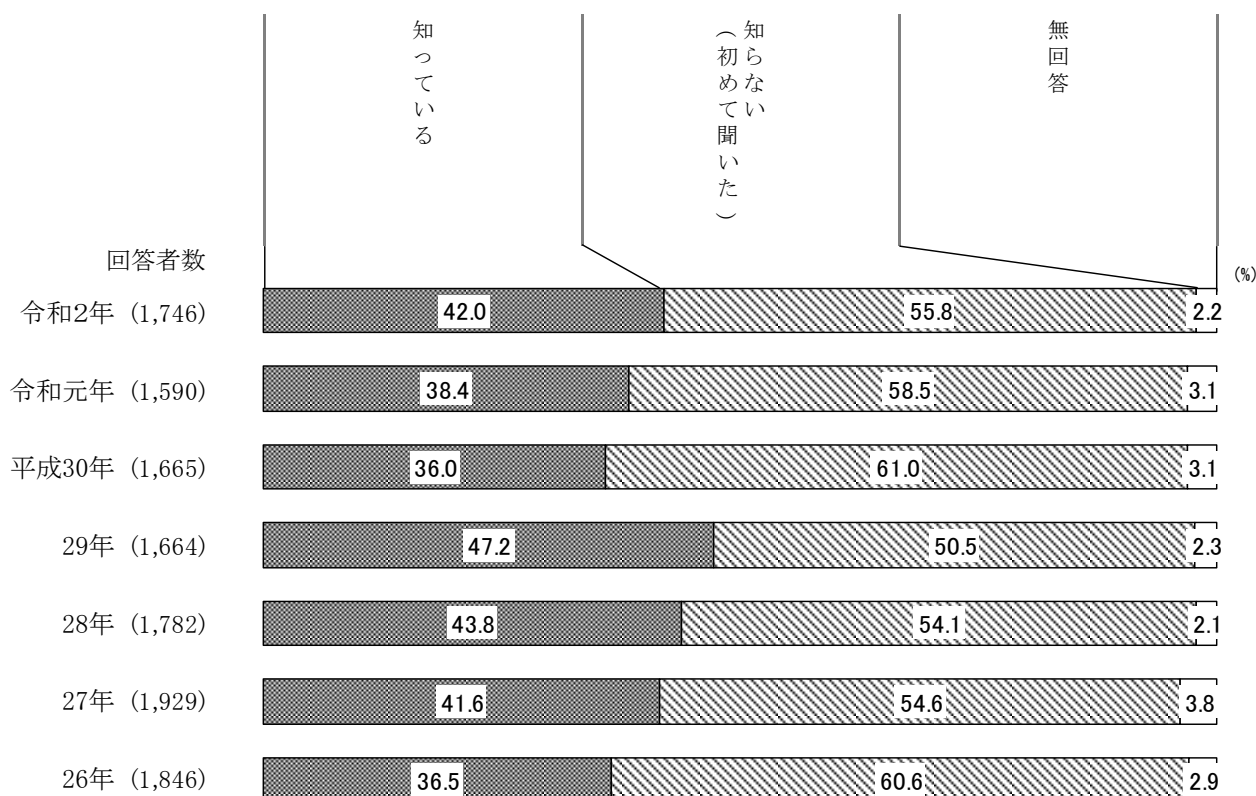
(4) 治安が改善していることの認知

■ 「知っている」が4割強、「知らない(初めて聞いた)」が5割台半ば

問36 あなたは、足立区内の刑法犯認知件数(※)が、ピークであった平成13年と比較して1万件以上、減少していることを知っていますか(○は1つだけ)。

※ 警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。

図7-4-1 経年比較/治安が改善していることの認知



※ 平成29年度までの設問文は、「あなたは、平成〇年の足立区内の刑法犯認知件数(※)が減少し、治安が改善していることを知っていますか。

(※)は質問文に続き「警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。」の説明文あり。

※ 平成30年度と令和元年度の設問文は、「あなたは、足立区内の刑法犯認知件数(※)がピーク時から1万件以上、減少していることをご存知ですか。」で聴取。なお、(※)の説明文は今年度と同じで変更なし。

足立区内の刑法犯認知件数がピークであった平成13年と比較して1万件以上、減少していることについて、「知っている」は42.0%で4割強となっている。一方、「知らない(初めて聞いた)」は55.8%で5割台半ばとなっている。

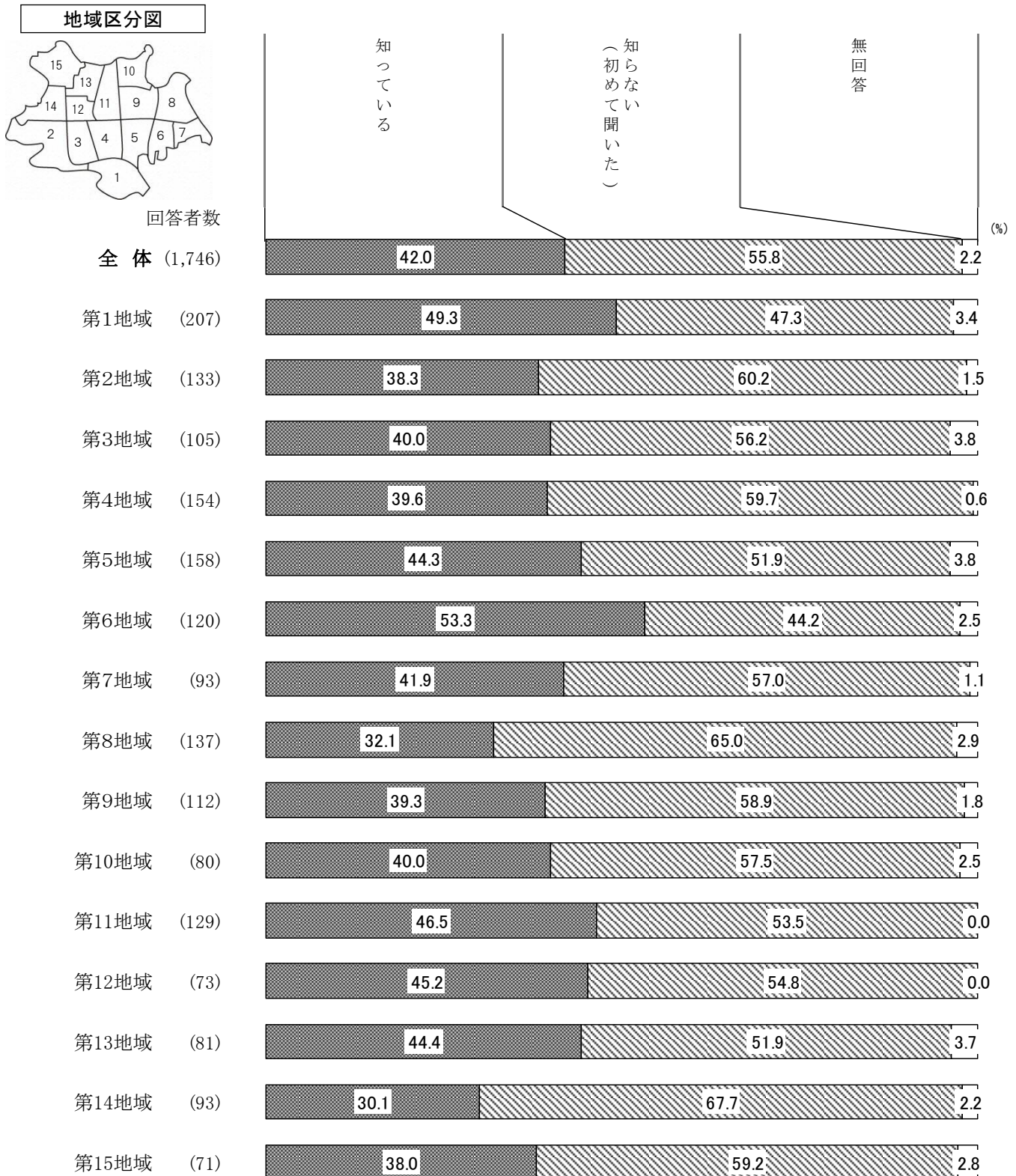
経年でみると、設問文の一部変更には留意する必要があるものの、「知っている」は今回42.0%で前回(38.4%)より3.6ポイント増加して2年続けて増加傾向となっている。

なお、平成26年から平成29年までの調査結果は、設問文が部分的に異なるため、参考として掲載するが、単純に比較はできないためコメントはつけていない。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域別でみると、「知っている」は第6地域で53.3%と最も高く、第1地域も49.3%で続き高いが、第5地域、第11地域、第12地域、第13地域の4地域でも4割台半ばとやや高くなっている。一方、「知らない」は第8地域と第14地域の2地域で6割台後半と高くなっている。

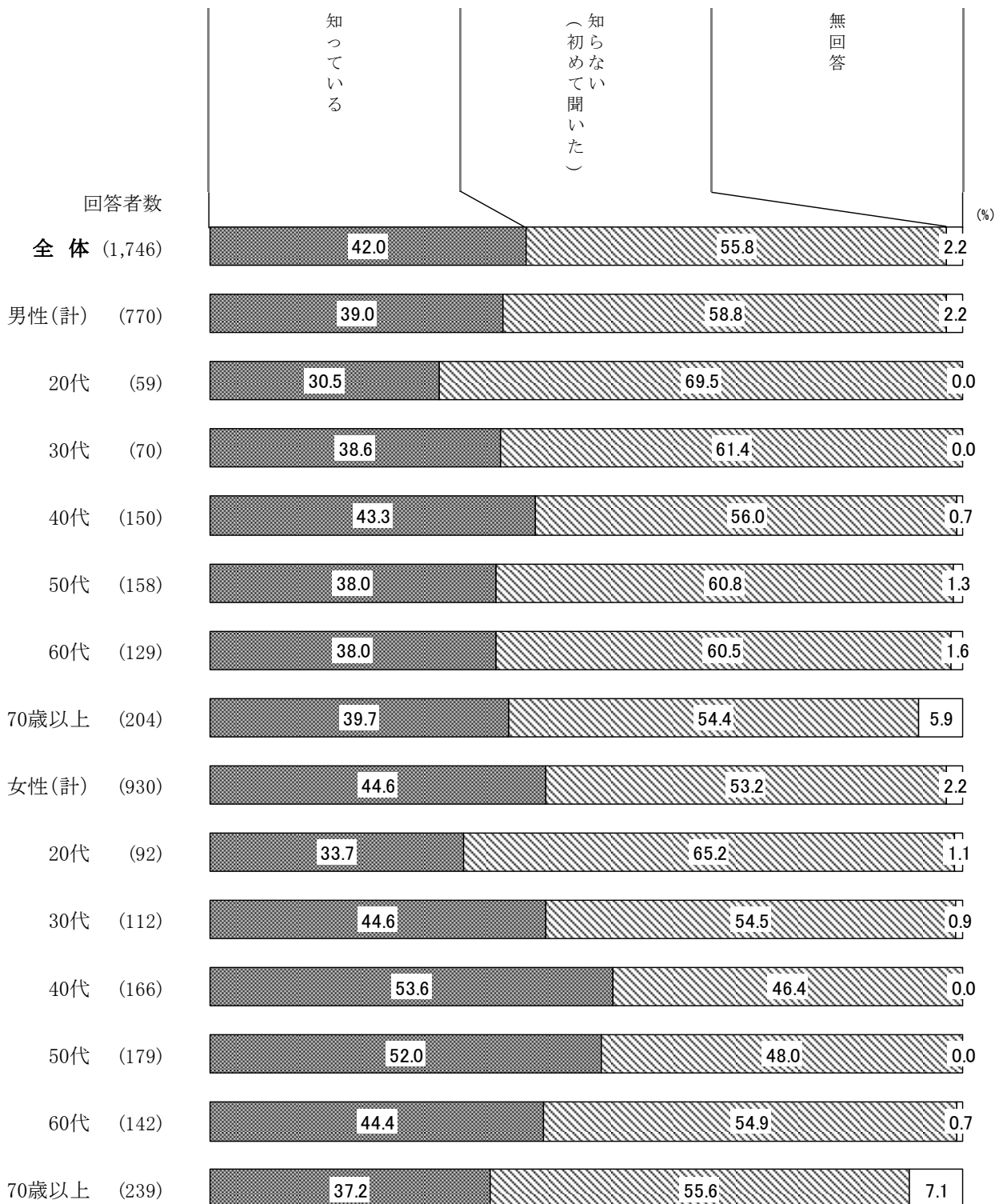
図7-4-2 地域別／治安が改善していることの認知



性別でみると、「知っている」は男性39.0%、女性44.6%で女性の方がやや高くなっている。

性・年代別でみると、「知っている」は、男性では40代で4割台半ば近くと高めな一方、20代で3割強と低くなっており、女性では40代と50代で5割台前半と高い一方で、3割台半ばの20代と4割弱の70歳以上でそれぞれ低くなっている。

図7-4-3 性別、性・年代別／治安が改善していることの認知



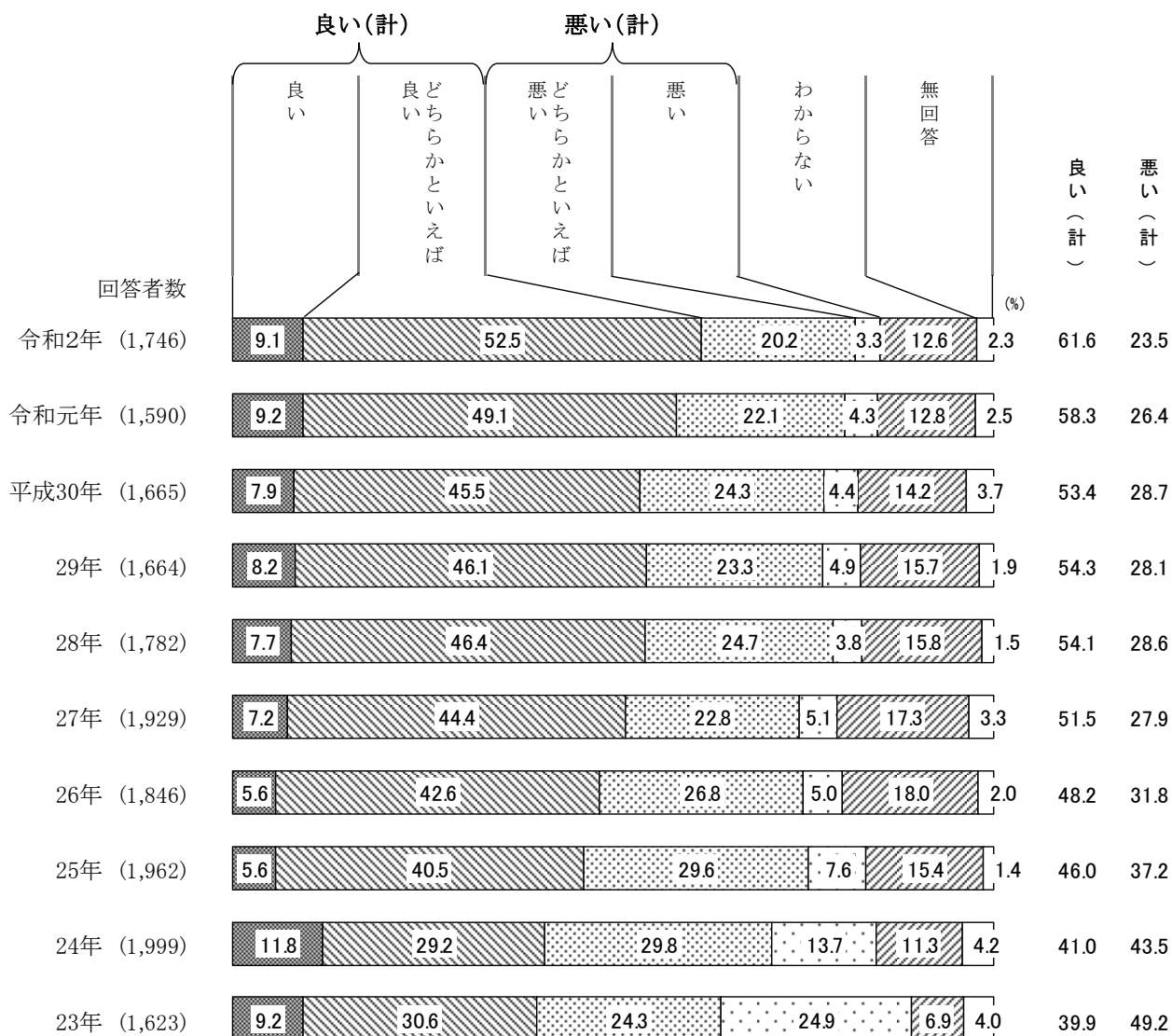
(5) 居住地域の治安状況

■【良い】は6割強で、初めての6割台となり、平成23年以降の中で最も高い

問37 あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか
（○は1つだけ）。

※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

図7-5-1 経年比較／居住地域の治安状況



住んでいる地域の治安について、「良い」が9.1%で、これに「どちらかといえば良い」の52.5%を合わせた【良い】は61.6%となっている。一方、「どちらかといえば悪い」(20.2%)と「悪い」(3.3%)を合わせた【悪い】は23.5%である。

経年でみると、【良い】は、平成28年から30年まではほぼ横ばいの状態となっていたが、令和元年から上昇に転じている。今回の令和2年の【良い】は61.6%と前回(58.3%)より更に3.3ポイント伸びて、最初に聴取した平成23年以降の10年間で最も高く、初めて6割台となっている。

地域別でみると、【良い】は第1地域で71.5%と最も高く、僅差で第2地域（69.9%）が続き、この両地域で高く、第7地域と第12地域も6割台後半とやや高くなっている。一方、【悪い】は第11地域と第15地域でともに3割弱と、他の地域に比べてやや高くなっている。

図7-5-2 地域別／居住地域の治安状況

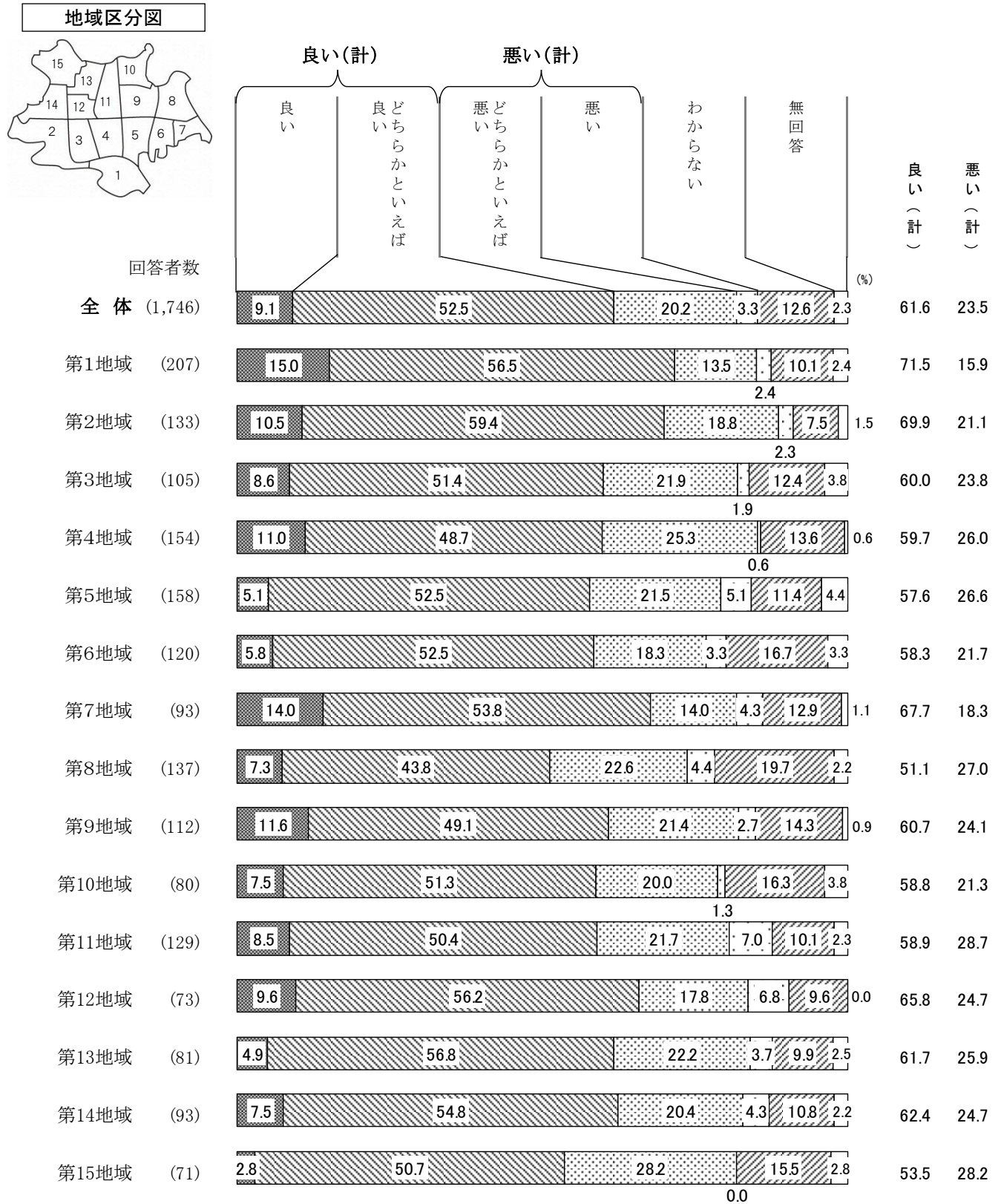
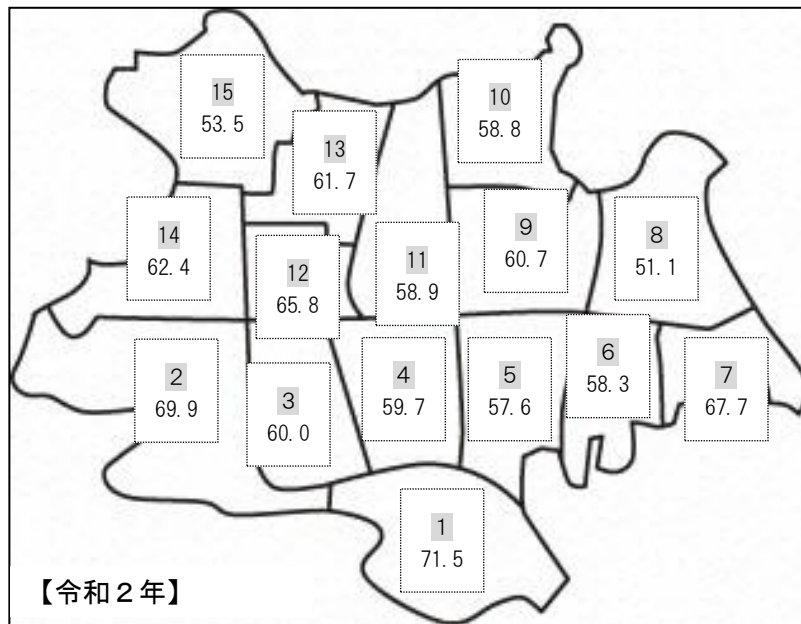
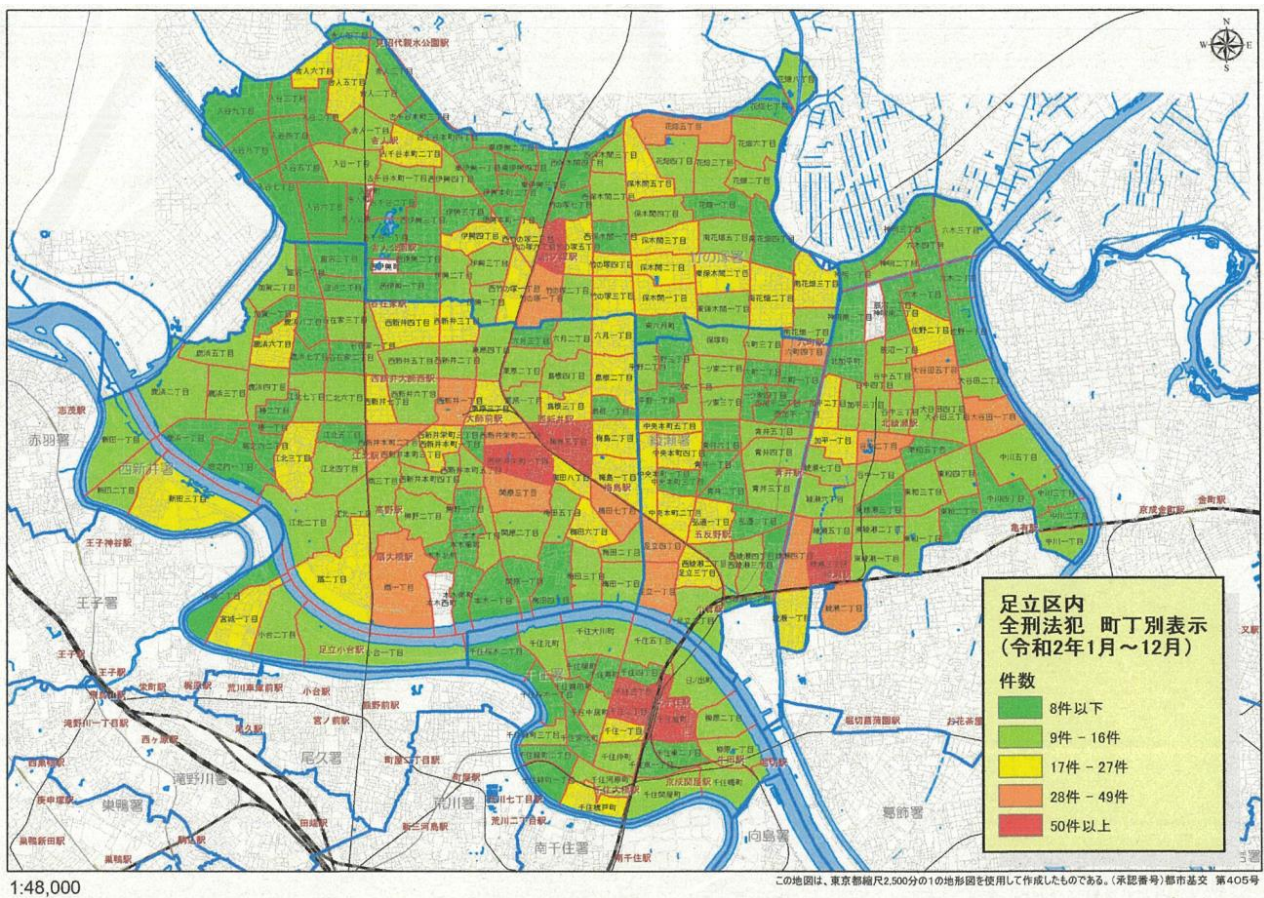


図7-5-3 地域区分図／居住地域の治安状況
 (上段：地域番号、下段：治安が【良い】と答えた回答者の割合%)



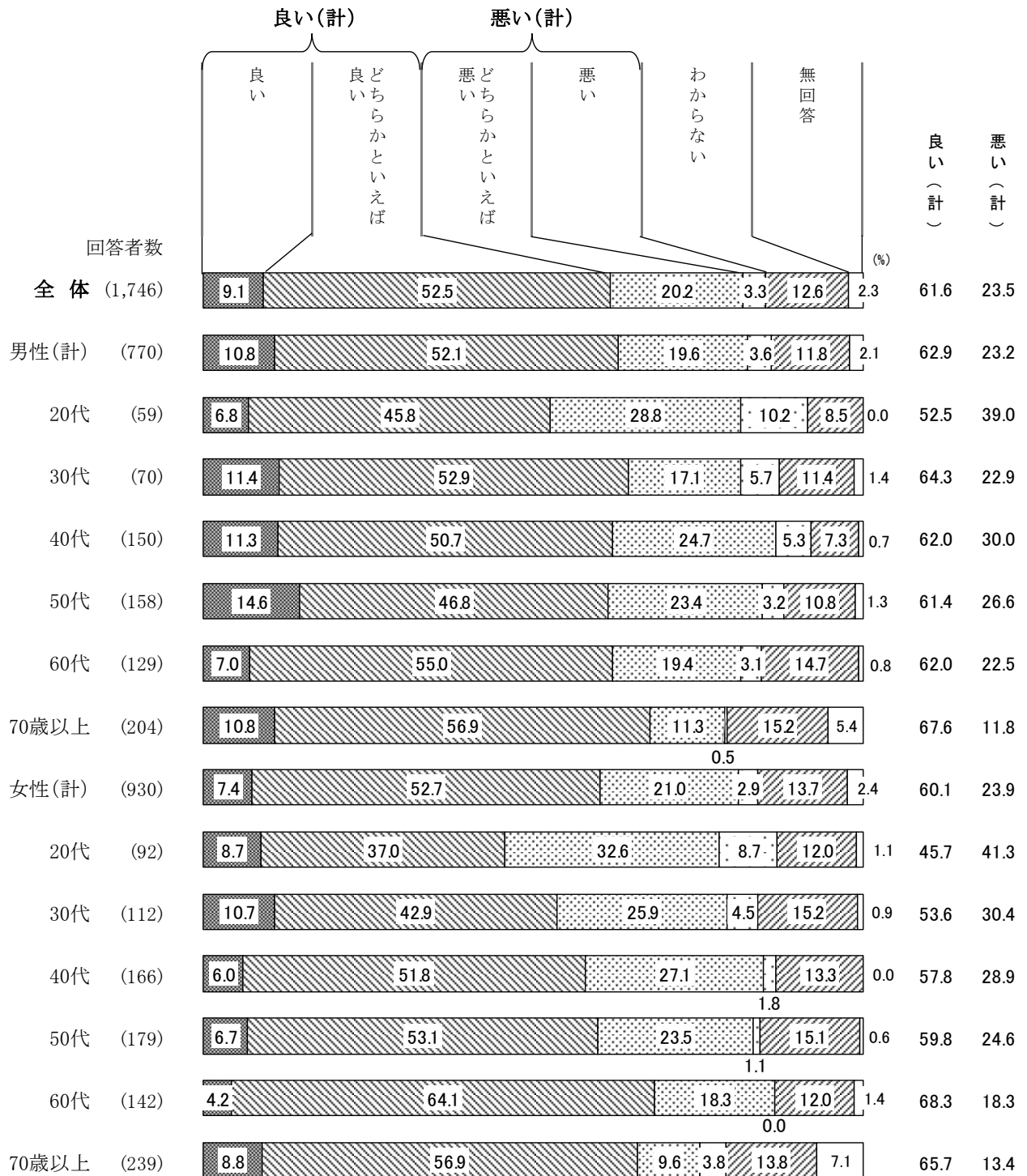
【参考資料】区内全刑法犯認知件数（令和2年1月～12月）



性別でみると、【良い】は男性62.9%、女性60.1%で男性の方がやや高いが、男女差は小さい。

性・年代別でみると、【良い】は、男性では70歳以上で67.6%と最も高く、30代も64.3%でやや高いが、20代で52.5%と低い。女性では60代で68.3%と最も高く、70歳以上も65.7%と高くなっているが、男性と同様に、20代で45.7%ととくに低くなっている。

図7-5-4 性別、性・年代別／居住地域の治安状況



(6) 区内の治安が良いと感じる点

■ “犯罪に巻き込まれた人がいないから” がほぼ5割で、これまで同様、最も高い

問37で「1 良い」、または「2 どちらかといえば良い」とお答えの方に
 問37-1 どのような点で治安が良いと感じますか (〇は2つまで)。

図7-6-1-① 経年比較/区内の治安が良いと感じる点

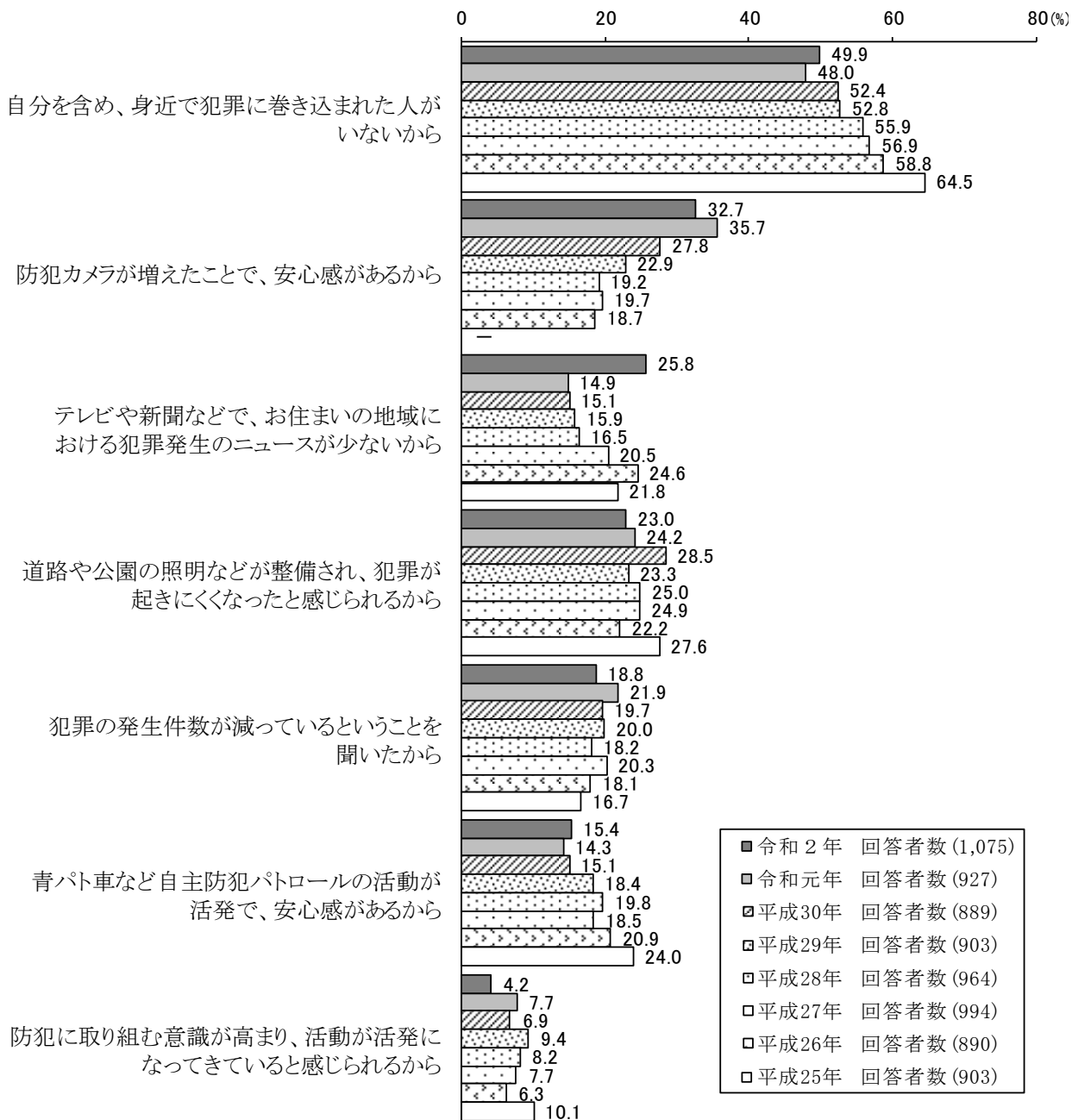
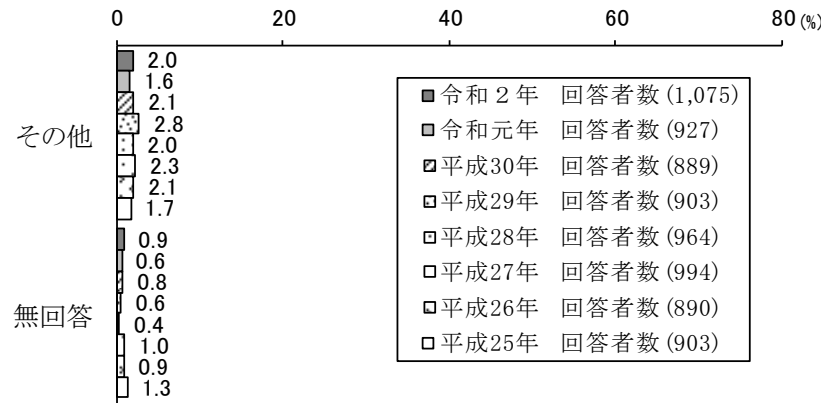


図7-6-1-② 経年比較／区内の治安が良いと感じる点



- ※「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は、平成26年度新設。
- ※「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」は、令和元年度までは「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」。
- ※「犯罪に取り組む意識が高まり、活動が活発になってきていると感じられるから」は、令和元年度までは「犯罪に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」、平成25年度では「区全体の防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」。

居住地域の治安を【良い】と評価した人に、その理由を聴くと、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が49.9%で最も高く、以下「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」(32.7%)、「テレビや新聞などで犯罪発生のニュースが少ないから」(25.8%)、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」(23.0%)の順となっている。

経年でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は今回49.9%で前回(48.0%)より微増しているが、平成25年以降の漸減傾向の流れを変えるまでには至っていない。

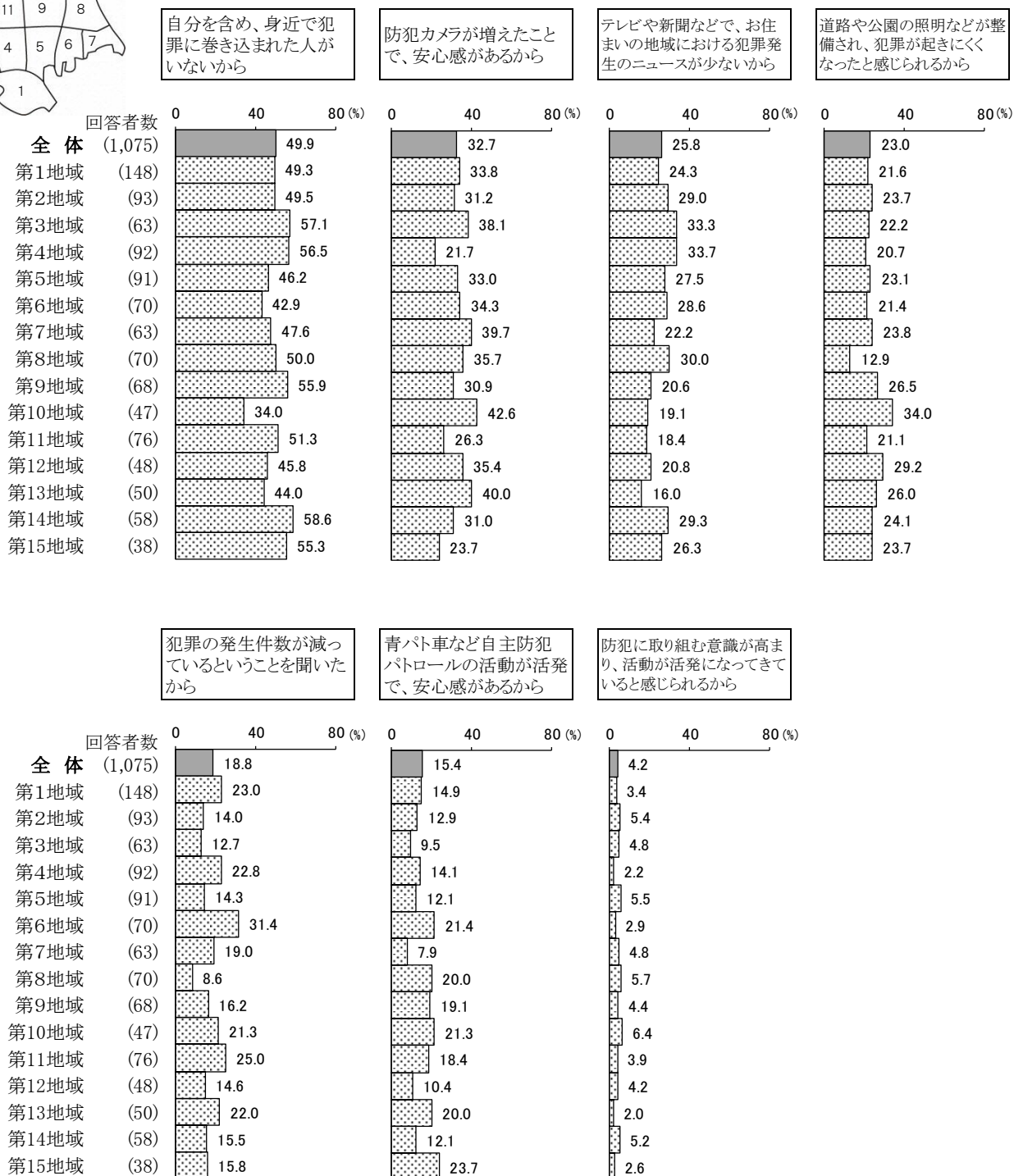
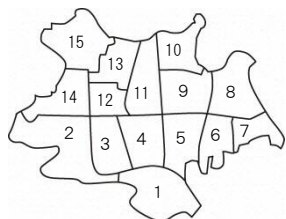
一方、平成29年以降3年続けて漸増傾向にあって、とくに前回大きく伸びた「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は今回32.7%と前回(35.7%)に比べると3.0ポイント減少しているが、このように上位項目の比率に目立って大きな増減がみられない中で、前回より大きく比率を伸ばした項目には「テレビや新聞などでお住まいの地域における犯罪発生のニュースが少ないから」があり、今回25.8%と前回(14.9%)より10.9ポイント増加して、順位も前回の5位から今回は3位となっている。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は第14地域で6割弱と最も高く、第3地域、第4地域、第9地域でも5割台後半と高めとなっている一方、第10地域で3割台半ばと低い。「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は第10地域と第13地域で4割を超え、第3地域と第7地域も4割弱とやや高いが、第4地域と第15地域で2割台前半と低くなっている。また、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」は第10地域で3割台半ば、「犯罪の発生件数が減っているということを聞いたから」は第6地域で3割強と、それぞれ高くなっている。

地域区分図

図7-6-2 地域別／区内の治安が良いと感じる点

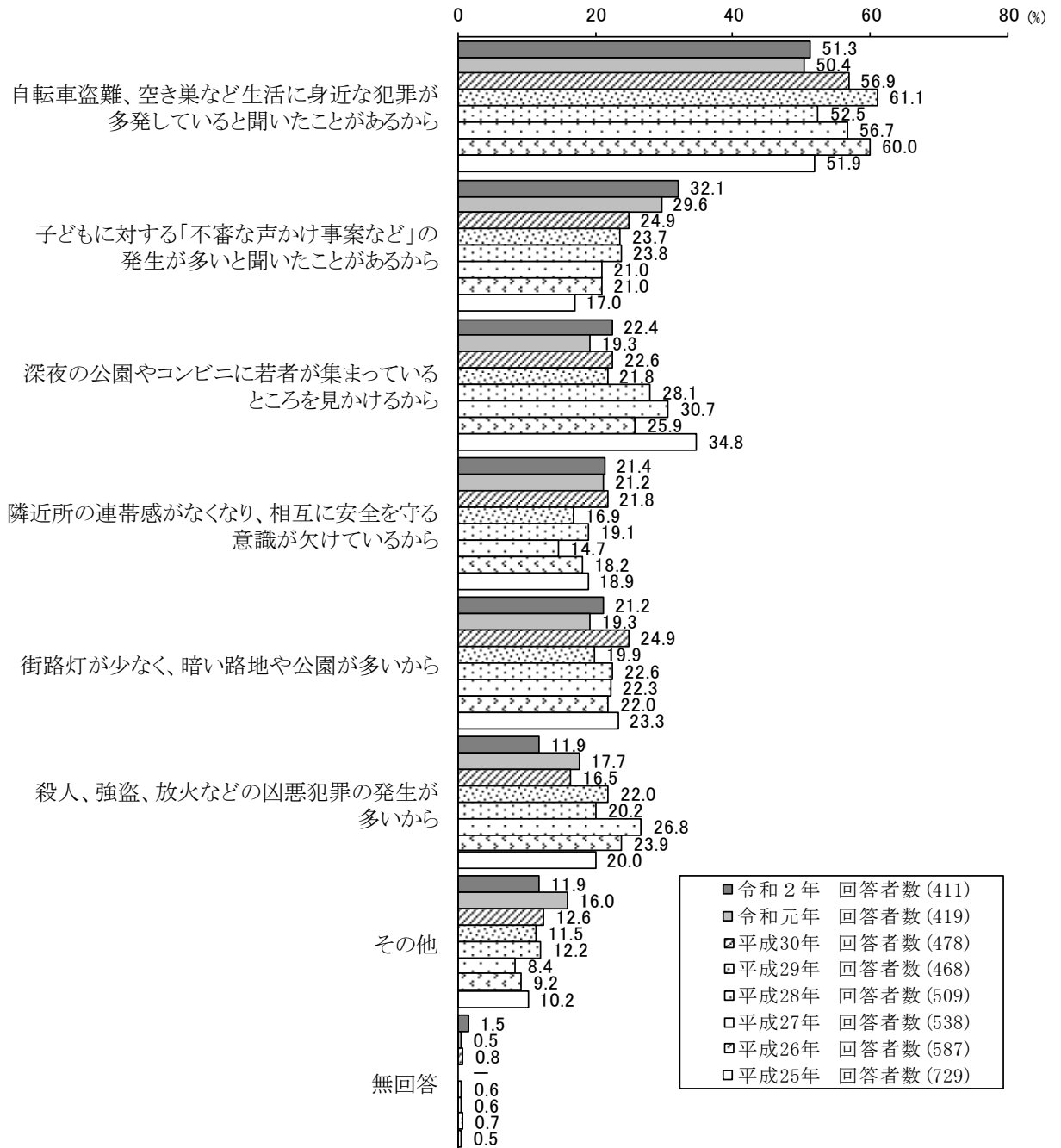


(7) 区内の治安が悪いと感じる点

■ “生活に身近な犯罪が多発していると聞いた” が5割を超えて突出

問37で「3 どちらかといえば悪い」、または「4 悪い」とお答えの方に
 問37-2 どのような点で治安が悪いと感じますか (〇は2つまで)。

図7-7-1 経年比較/区内の治安が悪いと感じる点



第3章 調査結果の分析〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

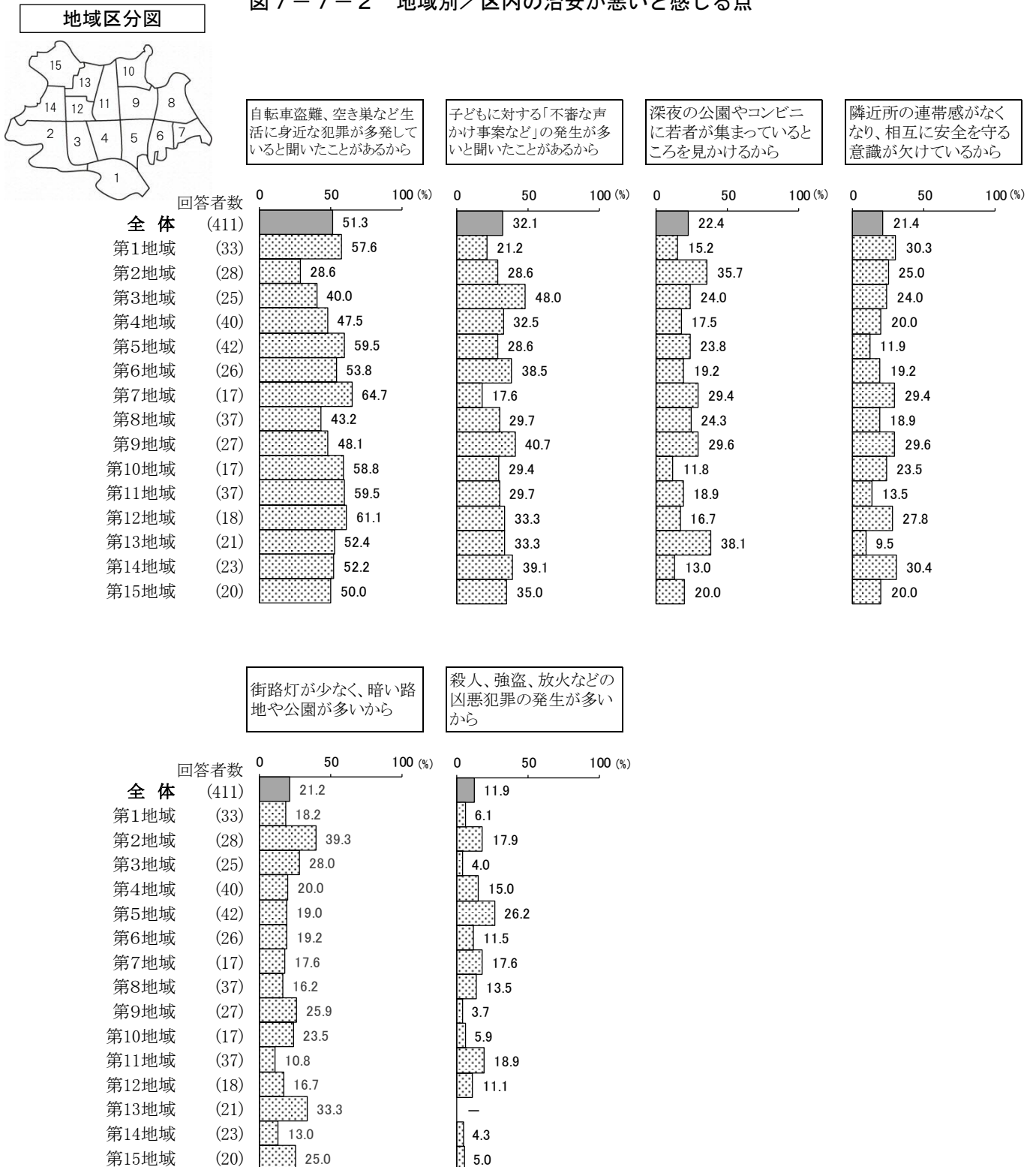
- ※「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は、平成25年度では「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」。
- ※「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は、平成25年度では「子どもに対する『不審な声かけ事案等』の発生が多いから」。

居住地域の治安を【悪い】と評価した人に、その理由を聴くと、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」が51.3%で最も高く、以下、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」(32.1%)、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」(22.4%)、「隣近所の連帯感がなくなり、相互に安全を守る意識が欠けているから」(21.4%)、「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」(21.2%)との順となっている。

経年でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」などの上位3項目のいずれも前回より1~3ポイント程度微増しているが、それらの比率に大きな変動がみられない中で、今回6位の「殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから」は今回11.9%と前回(17.7%)より5.8ポイント減少し、ピークだった平成27年以降の漸減傾向が今回も続けてみられる結果となっている。

地域別でみると、一部の地域で回答者数が少ないことに留意して参考値としてみる必要があるが、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は第7地域（64.7%）で高く、第2地域（28.6%）で低くなっている。また、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は第3地域で、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」は第13地域で、「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」は第2地域で、それぞれ他の地域より高くなっている。

図7-7-2 地域別／区内の治安が悪いと感じる点

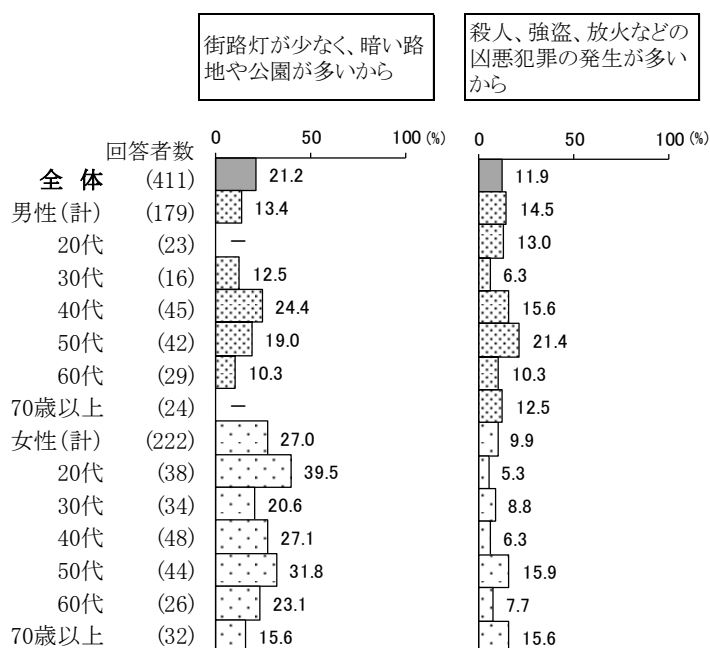
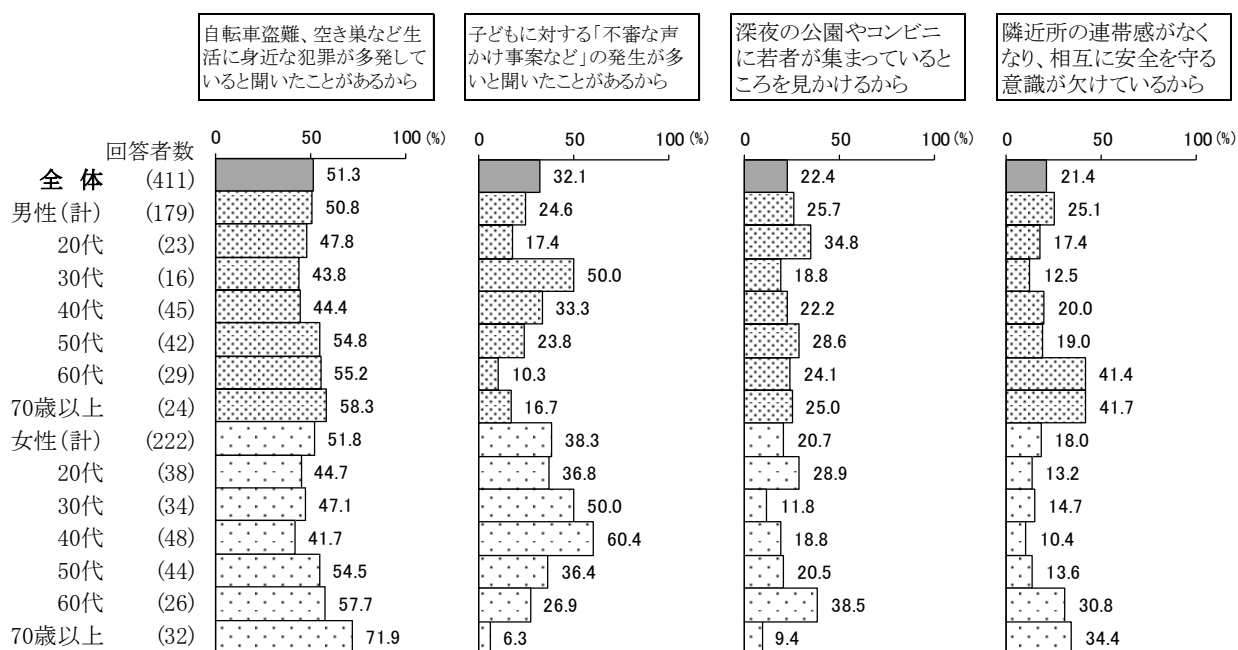


第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別でみると、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」と「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」は男性より約14ポイント程度女性の方が高く、男女差が大きくなっている。

性・年代別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発している」と聞いたことがあるから」は女性70歳以上で7割強、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は女性の40代で6割超、「隣近所の連帯感がなくなり、相互に安全を守る意識が欠けているから」は男性の60代と70歳以上で4割強と、それぞれやや高くなっている。

図7-7-3 性別、性・年代別／区内の治安が悪いと感じる点



(8) 治安対策として区に力を入れてほしいこと

■「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」が5割強、「安全に配慮した道路、公園の整備」と「防犯パトロール」がともに4割弱で上位

問38 あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか
(〇は2つまで)。

図7-8-1-① 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

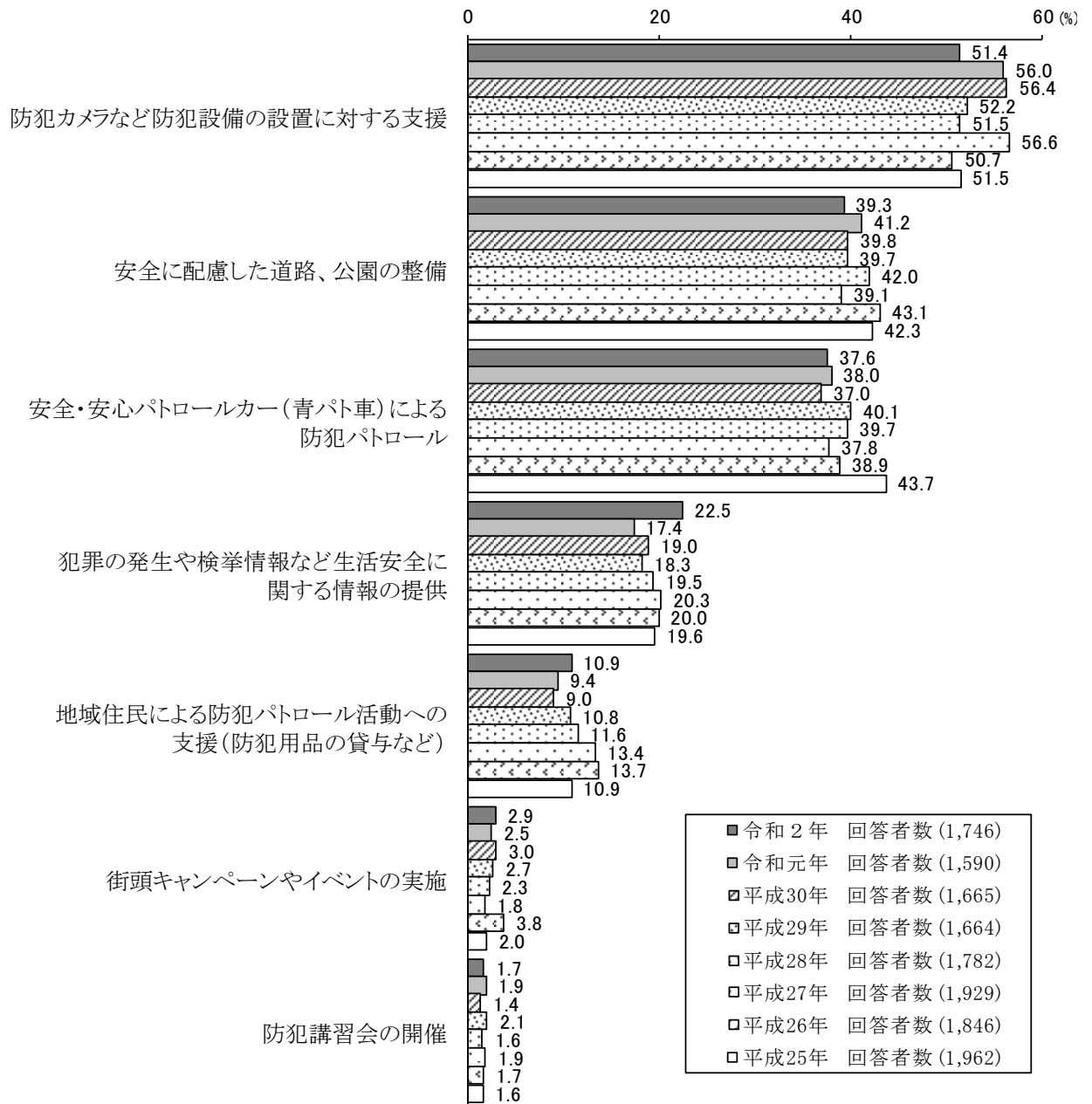
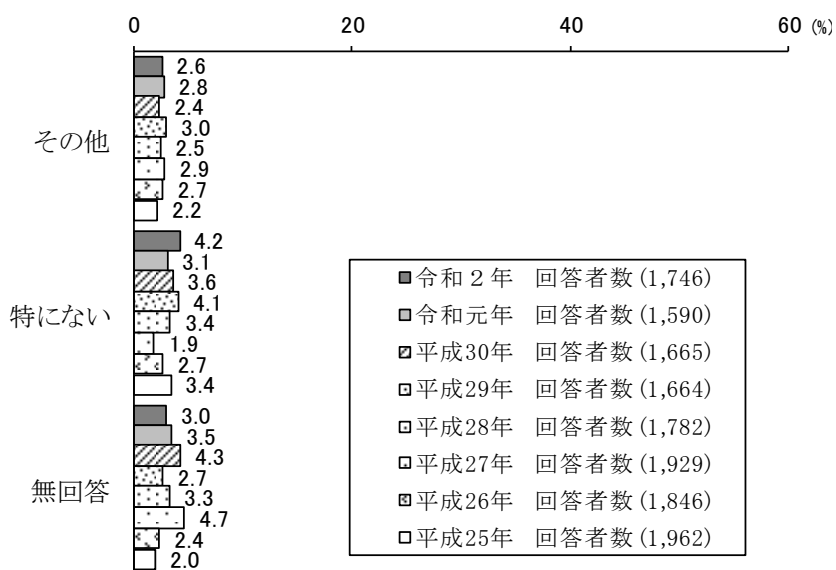


図7-8-1-② 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと



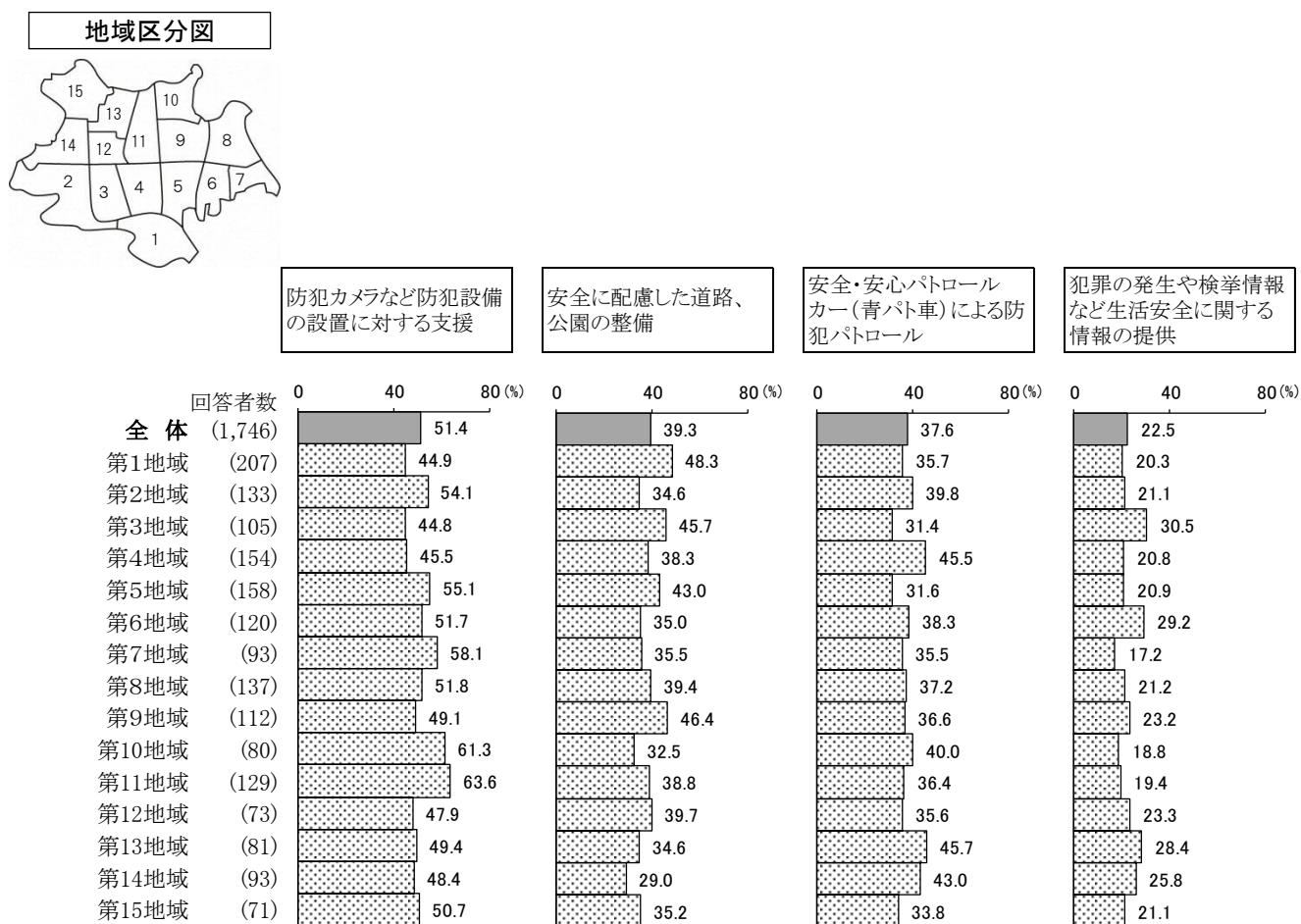
※「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は、平成28年度までは「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」

治安対策として足立区に力を入れてほしいこととしては、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」が51.4%で最も高く、以下「安全に配慮した道路、公園の整備」(39.3%)、「安全・安心パトロールカー(青パト車)による防犯パトロール」(37.6%)の順となっている。

経年でみると、順位に変動はみられないが、最上位の「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は今回51.4%で前回より4.6ポイント減少し、4位の「犯罪の発生や検挙情報など生活安全に関する情報の提供」は今回22.5%で前回(17.4%)より5.1ポイント増加している。

地域別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は第10地域と第11地域で6割台、「安全に配慮した道路、公園の整備」は第1地域、第3地域、第9地域で4割台半ば以上、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は第4地域と第13地域で4割台半ば、「犯罪の発生や検挙情報など生活安全に関する情報の提供」は第3地域、第6地域、第13地域で3割前後と、それぞれ他の地域に比べて高くなっている。

図7-8-2 地域別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目

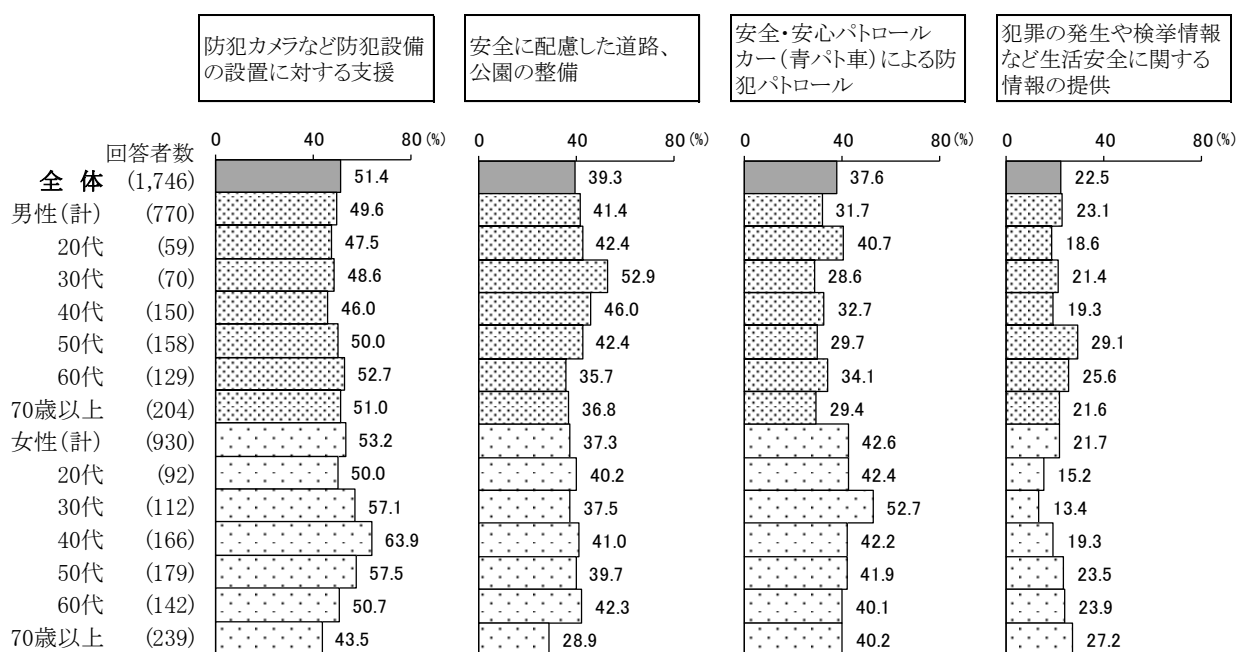


第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別でみると、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は男性31.7%、女性42.6%で女性の方が約11ポイント高いが、他の3項目に目立った男女差はみられない。

性・年代別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は女性の40代で6割台半ば、「安全に配慮した道路、公園の整備」は男性の30代で5割強、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は女性の30代で5割強、「犯罪の発生や検挙情報など生活安全に関する情報の提供」は男性の50代と女性の70歳以上で3割弱と、それぞれ他の性・年代層に比べてやや高くなっているが、目立って大きな違いはあまりみられない。

図7-8-3 性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



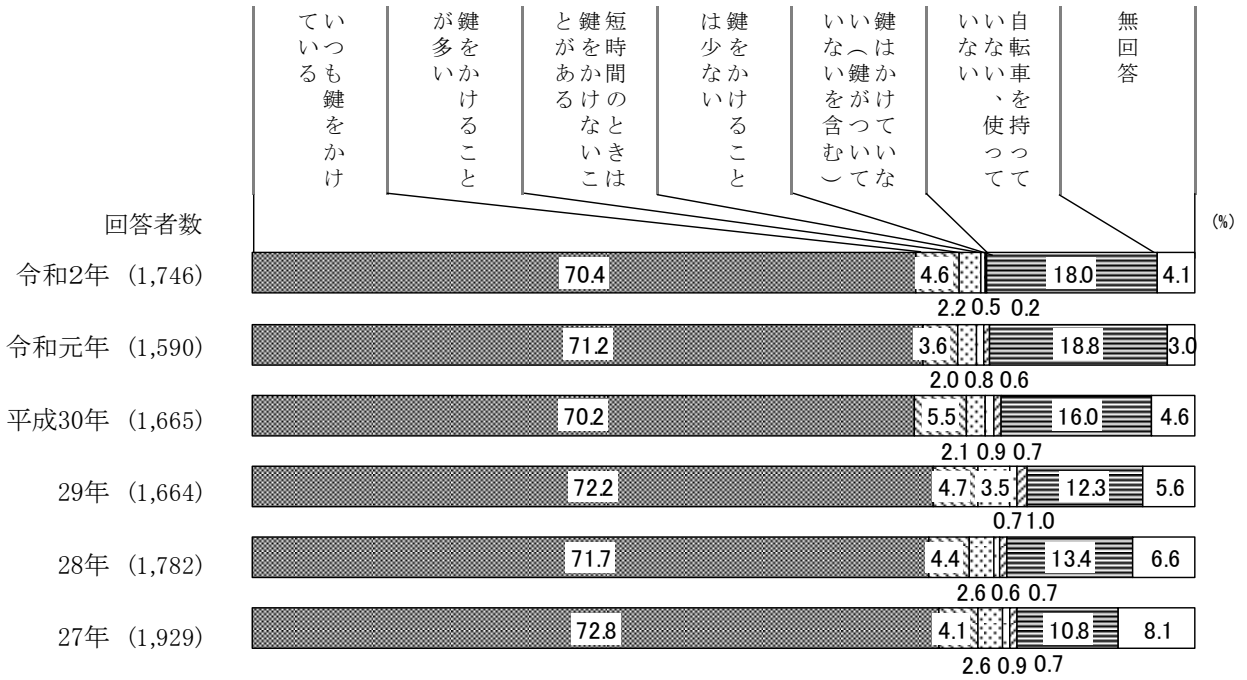
(9) 駐車時の鍵かけ状況

■「いつも鍵をかけている」は、外出先が7割超、敷地内が6割弱と、傾向は変わらず

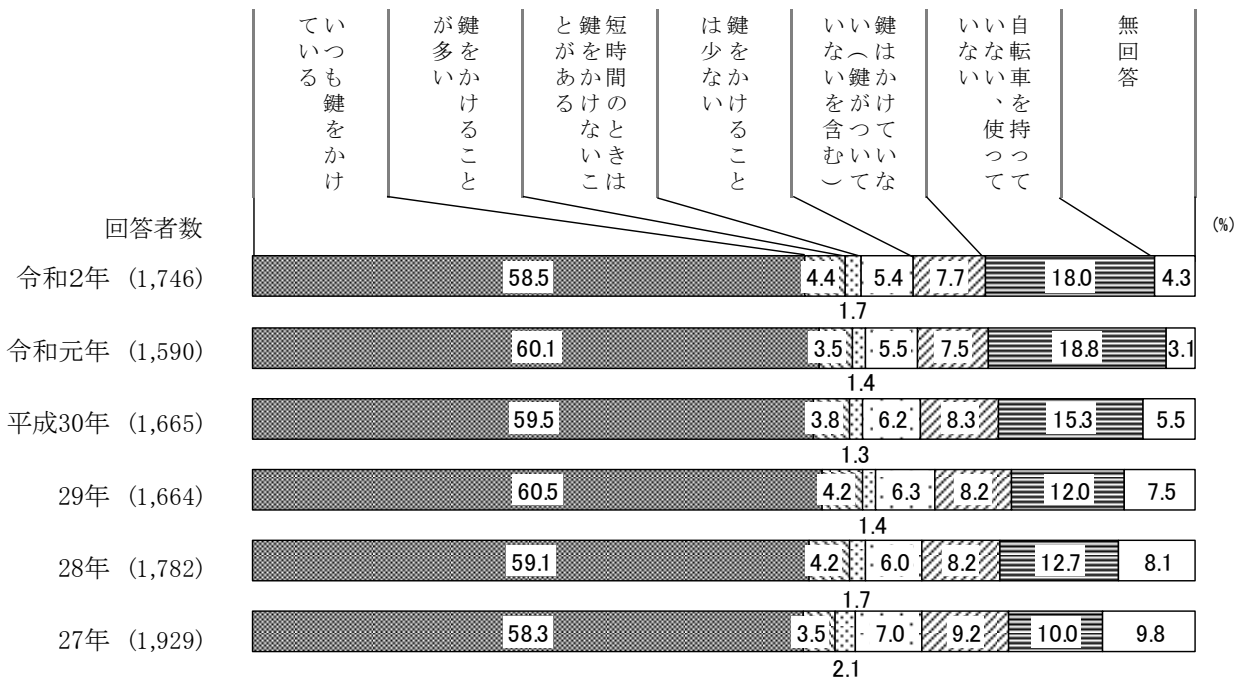
問39 あなたは、自転車を駐車するときには、自転車に鍵をかけていますか
(○はそれぞれ1つずつ)。

図7-9-1 経年比較／駐車時の鍵かけ状況

ア 外出先で駐車するとき



イ 自宅・マンションなどの敷地内に駐車するとき



第3章 調査結果の分析〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

外出先で自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについては、「いつも鍵をかけている」が70.4%を占めて最も多く、次いで「鍵をかけることが多い」(4.6%)となっている。一方、「短時間のときは鍵をかけないことがある」は2.2%、「鍵をかけることは少ない」は0.5%、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」は0.2%となっている。

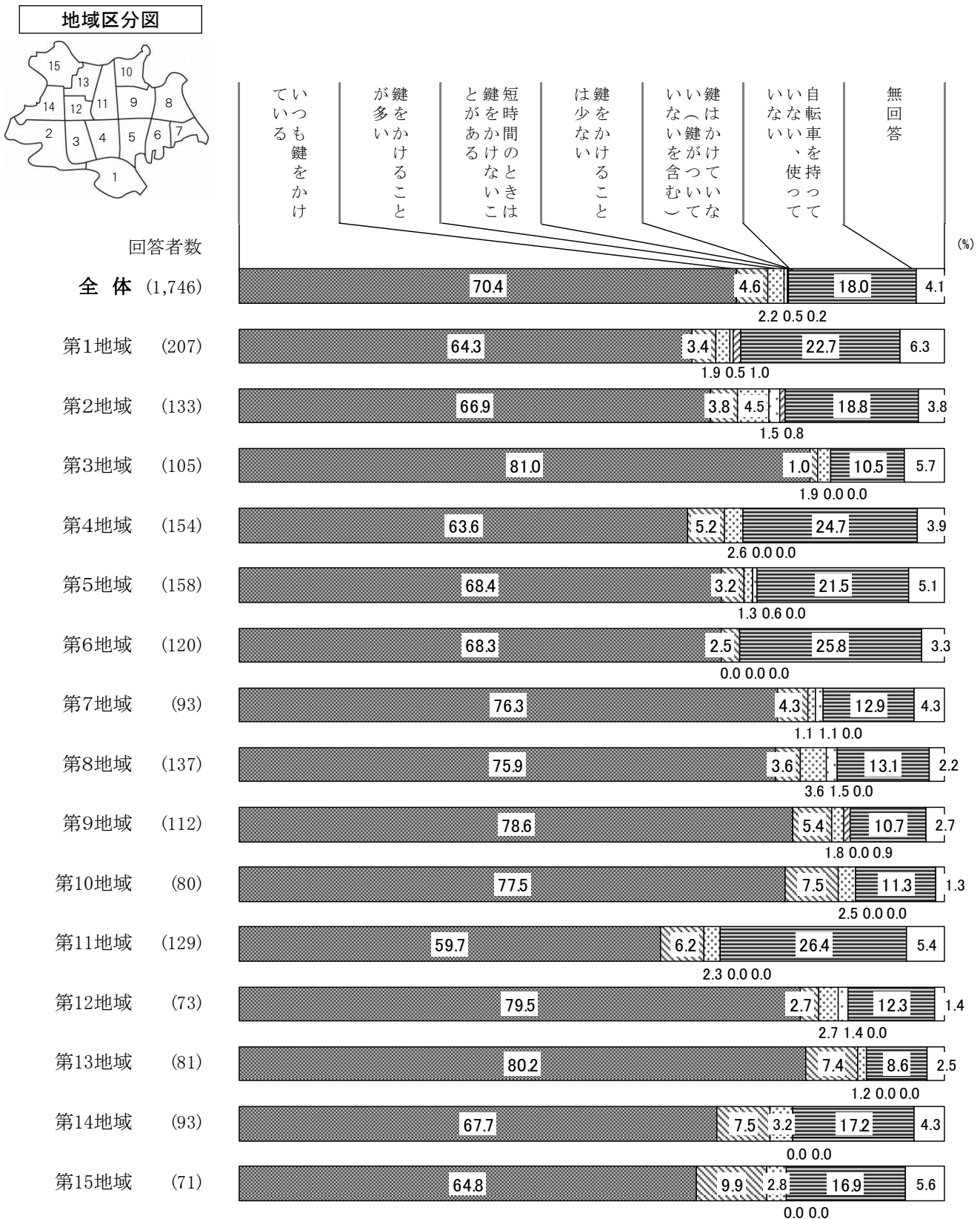
経年でみると、平成27年以降「いつも鍵をかけている」は各年7割強程度で、回答傾向に大きな変化はみられない。

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについては、「いつも鍵をかけている」が58.5%で最も多く、「鍵をかけることが多い」は4.4%となっている。一方、「短時間のときは鍵をかけないことがある」は1.7%、「鍵をかけることは少ない」は5.4%、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」は7.7%となっており、外出先に比べると鍵をかけない割合が増える様子が、これまでと同様にみられる。

経年でみると、平成27年以降「いつも鍵をかけている」は各年6割前後で、外出先同様、回答傾向に大きな変化はみられない。

外出先で自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、地域別でみると、「いつも鍵をかけている」は第3地域と第13地域が8割台前半と高い一方で、「自転車を持っていない・使っていない」(26.4%)が高い第11地域で約6割と最も低くなっている。

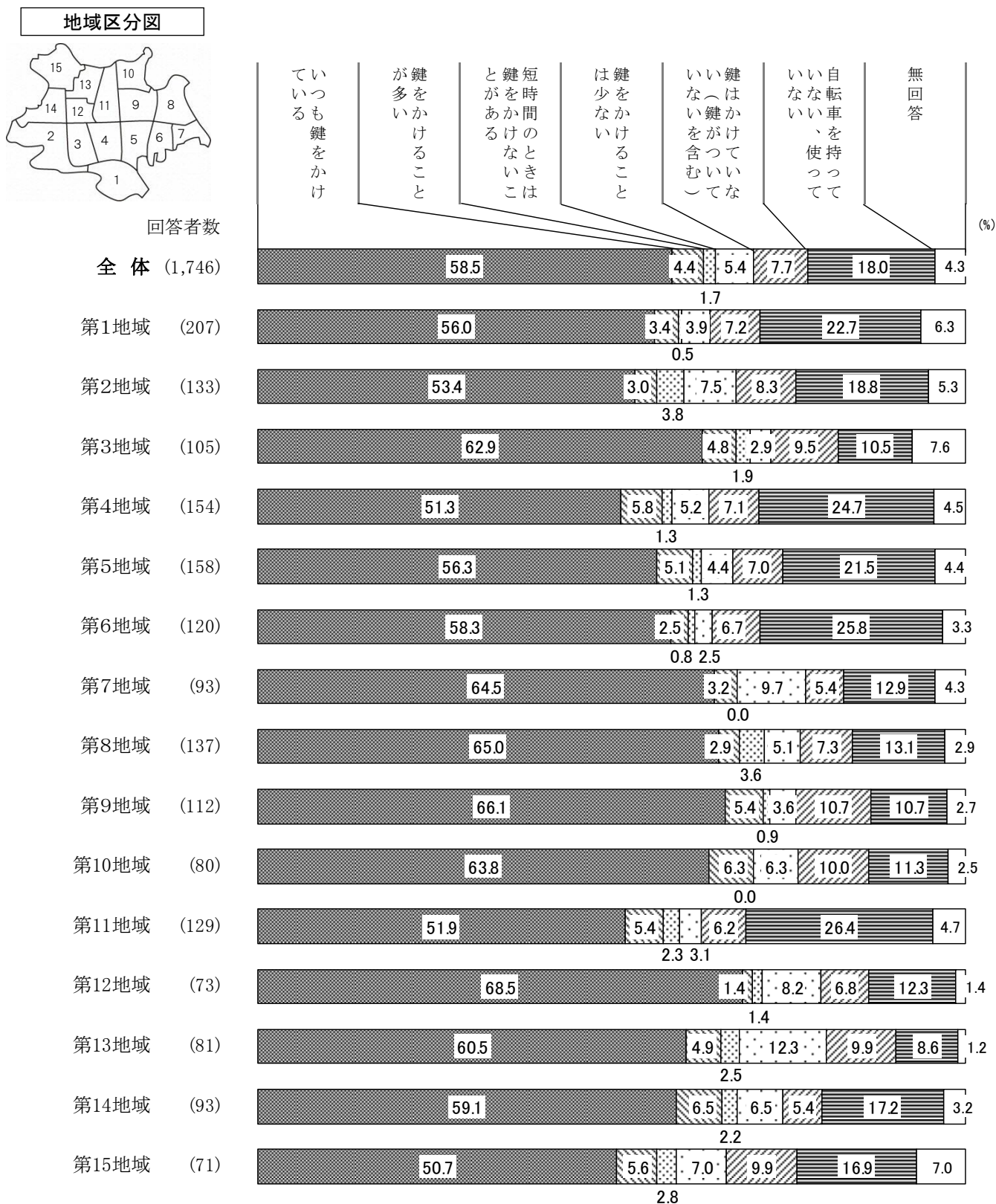
図7-9-2-① 地域別/駐車時の鍵かけ状況/外出先



第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、地域別でみると、「いつも鍵をかけている」は第12地域で7割弱と高く、第7地域、第8地域、第9地域の3地域も6割台半ばとやや高いが、第4地域、第11地域、第15地域の3地域はいずれも5割強で、他の地域に比べて低くなっている。

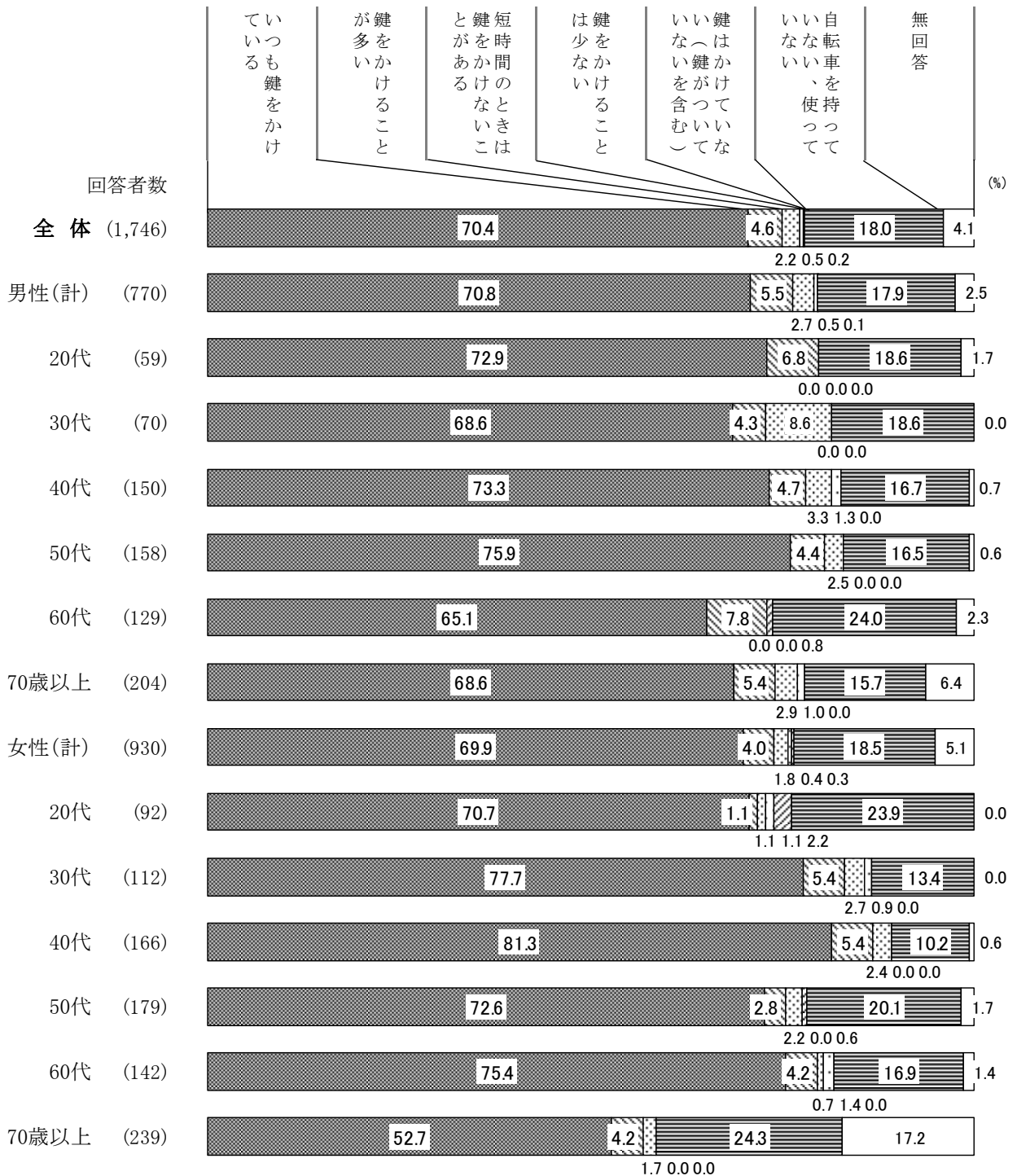
図7-9-2-② 地域別／駐車時の鍵かけ状況／敷地内



外出先で自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、性別でみると、「いつも鍵をかけている」は男性70.8%、女性69.9%となっており、ほとんど違いはみられない。

性・年代別でみると、「いつも鍵をかけている」は、男性では50代が7割台半ばで、女性では40代が8割強で、それぞれ最も高くなっているが、男性の60代、女性の20代と70歳以上では「自転車を持っていない・使っていない」がそれぞれ2割台半ばでやや高くなっている。

図7-9-3-① 性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況／外出先



第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、性別でみると、「いつも鍵をかけている」は男性が61.6%、女性が56.2%と男性の方がやや高くなっている。

性・年代別でみると、「いつも鍵をかけている」は、男性では40代と50代で6割台後半とやや高く、女性では30代と40代で7割前後と高くなっている。

図7-9-3-② 性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況／敷地内

